

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
第1部 漁港漁場関係工事 積算基準 目次	<p style="text-align: center;">第1部 漁港漁場関係工事積算基準 目次</p> <p>第3章 直接工事費の施工歩掛</p> <p>1節 浚渫・土捨工</p> <p>1. 総則 3- 1- 1</p> <p>2. ポンプ浚渫工 3- 1- 9</p> <p>3. グラブ浚渫工 3- 1-22</p> <p>4. 硬土盤浚渫工 3- 1-28</p> <p>5. 岩盤浚渫工 3- 1-34</p> <p>6. 排砂管設備工 3- 1-40</p> <p>7. 土運船運搬工 3- 1-49</p> <p>8. 揚土土捨工 3- 1-55</p> <p>付属資料</p> <p>付属資料-1 ポンプ浚渫船の能力算定</p> <p>付属資料-2 グラブ浚渫船の能力算定</p> <p>付属資料-3 バックホウ浚渫船の能力算定</p> <p>参考資料</p> <p>参考資料-1 バックホウ浚渫工</p> <p>参考資料-2 バックホウ浚渫土運搬</p> <p>参考資料-3 リクレーマ揚土</p> <p>参考資料-4 バックホウ揚土</p> <p>補足資料</p> <p>補足資料-1 浚渫・土捨工（海上地盤改良工共通）</p> <p>2節 海上地盤改良工</p> <p>1. 総則 3- 2- 1</p> <p>2. 床掘工 3- 2-10</p> <p>3. 排砂管設備工 3- 2-23</p> <p>4. 土運船運搬工 3- 2-23</p> <p>5. 揚土土捨工 3- 2-23</p> <p>6. 置換工 3- 2-24</p> <p>7. 圧密・排水工 3- 2-27</p> <p>8. 締固工 3- 2-32</p> <p>9. 固化工 3- 2-38</p> <p>参考資料</p> <p>参考資料-1 サンドドレーン工</p> <p>参考資料-2 水中人力床掘（土砂・砂レキ・岩盤）</p> <p>補足資料</p> <p>補足資料-1 海上地盤改良工</p>	<p style="text-align: center;">第1部 漁港漁場関係工事積算基準 目次</p> <p>第3章 直接工事費の施工歩掛</p> <p>1節 浚渫・土捨工</p> <p>1. 総則 3- 1- 1</p> <p>2. ポンプ浚渫工 3- 1- 9</p> <p>3. グラブ浚渫工 3- 1-22</p> <p>4. 硬土盤浚渫工 3- 1-28</p> <p>5. 岩盤浚渫工 3- 1-34</p> <p>6. 排砂管設備工 3- 1-40</p> <p>7. 土運船運搬工 3- 1-49</p> <p>8. 揚土土捨工 3- 1-55</p> <p>付属資料</p> <p>付属資料-1 ポンプ浚渫船の能力算定</p> <p>付属資料-2 グラブ浚渫船の能力算定</p> <p>付属資料-3 バックホウ浚渫船の能力算定</p> <p>参考資料</p> <p>参考資料-1 バックホウ浚渫工</p> <p>参考資料-2 バックホウ浚渫土運搬</p> <p>参考資料-3 リクレーマ揚土</p> <p>参考資料-4 バックホウ揚土</p> <p>補足資料</p> <p>補足資料-1 浚渫・土捨工（海上地盤改良工共通）</p> <p>2節 海上地盤改良工</p> <p>1. 総則 3- 2- 1</p> <p>2. 床掘工 3- 2-10</p> <p>3. 排砂管設備工 3- 2-23</p> <p>4. 土運船運搬工 3- 2-23</p> <p>5. 揚土土捨工 3- 2-23</p> <p>6. 置換工 3- 2-24</p> <p>7. 圧密・排水工 3- 2-27</p> <p>8. 締固工 3- 2-32</p> <p>9. 固化工 3- 2-38</p> <p>参考資料</p> <p>参考資料-1 水中人力床掘（土砂・砂レキ・岩盤）</p> <p>補足資料</p> <p>補足資料-1 海上地盤改良工</p>	<p>文言削除にともなう 修正</p>

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
第1部 漁港漁場関係工事 積算基準 第1章 総則 1節 総則 P1-1-1	4. 基準の構成 この積算基準の構成は、以下のとおりである。 第1章 総則 1節 総則 2節 積算の通則 第2章 工事費の積算 1節 直接工事費 2節 間接工事費 3節 一般管理費等 4節 その他 第3章 直接工事費の施工歩掛 1節 浚渫・土捨工 2節 海上地盤改良工 3節 基礎工 4節 本体工 4.1 ケーソン式 4.2 ブロック式 4.3 場所打式 4.4 捨石式・捨ブロック式 4.5 鋼矢板式 4.6 鋼杭式 5節 被覆・根固工 6節 上部工 7節 付属工 8節 消波工 9節 裏込・裏埋工 10節 埋立工 11節 陸上地盤改良工 12節 土工 13節 舗装工 14節 維持補修工 15節 魚礁工 16節 増殖場工 17節 構造物撤去工 18節 仮設工 19節 雑工 第4章 <u>市場単価</u> 第5章 間接工事費の施工歩掛 1節 回航・えい航費 2節 運搬費 3節 準備費 4節 事業損失防止施設費 5節 安全費 6節 役務費 7節 技術管理費 8節 水雷・傷害等保険料 9節 営繕費 10節 現場環境改善費 単価表	4. 基準の構成 この積算基準の構成は、以下のとおりである。 第1章 総則 1節 総則 2節 積算の通則 第2章 工事費の積算 1節 直接工事費 2節 間接工事費 3節 一般管理費等 4節 その他 第3章 直接工事費の施工歩掛 1節 浚渫・土捨工 2節 海上地盤改良工 3節 基礎工 4節 本体工 4.1 ケーソン式 4.2 ブロック式 4.3 場所打式 4.4 捨石式・捨ブロック式 4.5 鋼矢板式 4.6 鋼杭式 5節 被覆・根固工 6節 上部工 7節 付属工 8節 消波工 9節 裏込・裏埋工 10節 埋立工 11節 陸上地盤改良工 12節 土工 13節 舗装工 14節 維持補修工 15節 魚礁工 16節 増殖場工 17節 構造物撤去工 18節 仮設工 19節 雑工 第4章 <u>市場単価等</u> 第5章 間接工事費の施工歩掛 1節 回航・えい航費 2節 運搬費 3節 準備費 4節 事業損失防止施設費 5節 安全費 6節 役務費 7節 技術管理費 8節 水雷・傷害等保険料 9節 営繕費 10節 現場環境改善費 単価表	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
<p>1節 直接工事費 P2-1-1</p>	<p>2-1-2 労務単価の補正 1) 割増賃金の積算 時間外または深夜の割増賃金を計上する場合の積算労務単価は、次式により算出する。</p> <p>積算労務単価＝所定内労働に対する賃金＋割増賃金 ＝労務単価（休日の場合は計上しない）＋労務単価×K×割増すべき時間数 （1位四捨五入）</p> <p>K：1時間当り割増賃金係数（職種毎に算出） K＝割増対象賃金比×1/8×割増係数（小数4位四捨五入） 割増対象賃金比：労務単価に占める割増賃金の対象となる賃金の比率 割増係数：1.25（平日および法定休日以外の時間外） 0.25（深夜）</p> <p>労働基準法第37条第1項の割増賃金に係る率の最低限度を定める政令による。</p> <p>注）作業船の単価設定における船員の労務単価については、β（船員供用係数）において時間外割増手当および深夜割増手当を考慮するものとし、8時間単価を適用する。</p> <p>(2) 深夜 ① 所定労働時間8時間の労働を行い、うち3時間が深夜の時間帯の場合 積算労務単価＝労務単価＋労務単価×K（深夜）×3時間</p> <p>2) 2交代制の場合の労務単価 2交代制の場合の船員の労務単価は、時間外割増賃金および深夜割増賃金を加算し、次式により算出する。 2交代制の場合の積算労務単価＝労務単価＋労務単価×T（1位四捨五入）</p> <p>T：2交代制の場合の総割増賃金係数 T＝割増対象賃金比×γ（小数4位四捨五入） γ：割増賃金率（就業時間数、時間帯により計算する）</p>	<p>2-1-2 労務単価の補正 1) 割増賃金の積算 時間外または深夜の割増賃金を計上する場合の積算労務単価は、次式により算出する。</p> <p>積算労務単価＝所定内労働に対する賃金＋割増賃金 ＝労務単価（休日の場合は計上しない）＋労務単価×K×割増すべき時間数 （1位四捨五入）</p> <p>K：1時間当り割増賃金係数（職種毎に算出） K＝割増対象賃金比×1/8×割増係数（小数4位四捨五入） 割増対象賃金比：労務単価に占める割増賃金の対象となる賃金の比率 割増係数：1.25（平日および法定休日以外の時間外） 0.25（深夜）</p> <p>労働基準法第37条第1項の割増賃金に係る率の最低限度を定める政令による。</p> <p>注）作業船の単価設定における船員の労務単価については、β（船員供用係数）において時間外割増手当および深夜割増手当を考慮するものとし、8時間単価を適用する。</p> <p>[割増賃金の計上が必要な場合の労務費（割増賃金を含む総額）の計算例] (1) 時間外 ① 所定労働時間の8時間に加え、2時間の時間外労働を行う場合（すべて深夜以外の時間帯の場合） 積算労務単価＝労務単価＋労務単価×K（時間外）×2時間 ② 所定労働時間の8時間に加え、4時間の時間外労働を行い、うち2時間が深夜の時間帯の場合 積算労務単価＝労務単価＋労務単価×K（時間外）×4時間＋労務単価×K（深夜）×2時間</p> <p>(2) 深夜 ① 所定労働時間8時間の労働を行い、うち3時間が深夜の時間帯の場合 積算労務単価＝労務単価＋労務単価×K（深夜）×3時間</p> <p>2) 2交代制の場合の労務単価 2交代制の場合の船員の労務単価は、時間外割増賃金および深夜割増賃金を加算し、次式により算出する。 2交代制の場合の積算労務単価＝労務単価＋労務単価×T（1位四捨五入）</p> <p>T：2交代制の場合の総割増賃金係数 T＝割増対象賃金比×γ（小数4位四捨五入） γ：割増賃金率（就業時間数、時間帯により計算する）</p>	<p>記載の追記</p> <p>記載の見直し</p>
<p>1節 直接工事費 P2-1-4</p>	<p>2-4 市場単価 市場単価の適用工種、積算方法等については、「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p>	<p>2-4 市場単価 市場単価の適用工種、積算方法等については、「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	<p>記載の追記</p>
<p>1節 直接工事費 P2-1-5</p>	<p>2-6 拘束費 2-6-1 拘束費計上の対象 工事の施工に際し、作業の種類や現場条件に応じて拘束が発生する場合は、拘束費を計上する。 ここでいう拘束とは、作業船舶・機械の主目的作業の前後および途中で副次的に発生する付帯作業、または発注者・請負者双方の責によらず発生する待機状態をいい、主目的の施工歩掛の代価表の供用日数（「2-5-1 船舶の供用日数」参照）や、回航・えい航中の供用日数に含まれない状態をいう。</p> <p>1) 付帯作業による拘束費 以下の主作業船とそれに付属する作業船については、拘束費を計上する。なお、詳細については、「第3章 <u>直接工事費の施工歩掛</u>」による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ浚渫船 ・サンドドレーン船 ・深層混合処理船 ・グラブ浚渫船 ・サンドコンパクション船 ・その他、上記に準ずる作業船 ・バックホウ浚渫船 ・コンクリートミキサー船 ・杭打船 ・バージアンローダ船 	<p>2-6 拘束費 2-6-1 拘束費計上の対象 工事の施工に際し、作業の種類や現場条件に応じて拘束が発生する場合は、拘束費を計上する。 ここでいう拘束とは、作業船舶・機械の主目的作業の前後および途中で副次的に発生する付帯作業、または発注者・請負者双方の責によらず発生する待機状態をいい、主目的の施工歩掛の代価表の供用日数（「2-5-1 船舶の供用日数」参照）や、回航・えい航中の供用日数に含まれない状態をいう。</p> <p>1) 付帯作業による拘束費 以下の主作業船とそれに付属する作業船については、拘束費を計上する。なお、詳細については、「第3章 <u>直接工事費の施工歩掛</u>」による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ浚渫船 ・サンドコンパクション船 ・その他、上記に準ずる作業船 ・グラブ浚渫船 ・コンクリートミキサー船 ・杭打船 ・バックホウ浚渫船 ・バージアンローダ船 ・深層混合処理船 	<p>文言削除にともなう修正</p>

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																																																																																																																								
1節 直接工事費 P2-1-(15)	<p><作業船用付属品及び漁港工事用付属機器></p> <p>1) 損料算定表の種類、分類に該当する機器が無く、用途・規格・仕様等が近似しているもの。</p> <p>a 基礎価格 原則として見積価格を採用する。なお、基礎価格の決定額は損料算定表に掲載の近似した付属品または付属機器の有効桁数に準じることとする。 (例：有効桁数2桁の場合、3桁目四捨五入)</p> <p>b 諸数値 損料算定表の種類・分類または用途・規格・仕様等が近似しているものを準用する。</p> <p>2) 損料算定表の種類、分類に該当する機器が無く、用途・規格・仕様等が近似したものが無いもの。</p> <p>a 基礎価格 原則として見積価格を採用する。なお、基礎価格の決定額は損料算定表に掲載の近似した付属品または付属機器の有効桁数に準じることとする。 (例：有効桁数2桁の場合、3桁目四捨五入)</p> <p>b 諸数値 (社) 日本建設機械化協会発行の「建設機械等損料算定表」を参照し、該当の機器、類似の機器があれば、これを準用する。又は公共的機関で発行している算定表があれば、これを準用する。 なお、これによりがたい場合は、過去の実績等を調査し、これらを基に決定する。</p> <p style="text-align: center;">別表 主な港湾工事用作業船の積算基準上の扱い</p> <table border="1" data-bbox="344 716 1377 1864"> <thead> <tr> <th rowspan="2">船種</th> <th rowspan="2">積算基準で規格区分の範囲が明示されている船種 (A)</th> <th colspan="2">(A) 以外の船種の扱い</th> </tr> <tr> <th>(B)</th> <th>(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="4">(主作業船)</td></tr> <tr><td>ポンプ浚渫船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>グラブ浚渫船（硬土盤用含む）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>バックホウ浚渫船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>リクレーマ船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>バージアンローダ船</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>空気圧送船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>旋回起重機船（非航・自航）</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>固定起重機船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>クレーン付台船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>杭打船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>コンクリートミキサー船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>ケーソン製作用台船</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>深層混合処理船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td><u>サンドドレーン船</u></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>サンドコンパクション船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">(付属作業船)</td></tr> <tr><td>揚錨船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>引船・押船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>交通船、潜水士船、安全監視船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>ガット船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ガットバージ</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>土運船・押航土運船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>台船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> </tbody> </table>	船種	積算基準で規格区分の範囲が明示されている船種 (A)	(A) 以外の船種の扱い		(B)	(C)	(主作業船)				ポンプ浚渫船	○			グラブ浚渫船（硬土盤用含む）	○			バックホウ浚渫船	○			リクレーマ船	○			バージアンローダ船			○	空気圧送船	○			旋回起重機船（非航・自航）		○		固定起重機船		○		クレーン付台船		○		杭打船		○		コンクリートミキサー船		○		ケーソン製作用台船			○	深層混合処理船	○			<u>サンドドレーン船</u>		○		サンドコンパクション船		○		(付属作業船)				揚錨船		○		引船・押船		○		交通船、潜水士船、安全監視船		○		ガット船	○			ガットバージ		○		土運船・押航土運船	○			台船		○		<p><作業船用付属品及び漁港漁場関係工事用付属機器></p> <p>1) 損料算定表の種類、分類に該当する機器が無く、用途・規格・仕様等が近似しているもの。</p> <p>a 基礎価格 原則として見積価格を採用する。なお、基礎価格の決定額は損料算定表に掲載の近似した付属品または付属機器の有効桁数に準じることとする。 (例：有効桁数2桁の場合、3桁目四捨五入)</p> <p>b 諸数値 損料算定表の種類・分類または用途・規格・仕様等が近似しているものを準用する。</p> <p>2) 損料算定表の種類、分類に該当する機器が無く、用途・規格・仕様等が近似したものが無いもの。</p> <p>a 基礎価格 原則として見積価格を採用する。なお、基礎価格の決定額は損料算定表に掲載の近似した付属品または付属機器の有効桁数に準じることとする。 (例：有効桁数2桁の場合、3桁目四捨五入)</p> <p>b 諸数値 (社) 日本建設機械化協会発行の「建設機械等損料算定表」を参照し、該当の機器、類似の機器があれば、これを準用する。又は公共的機関で発行している算定表があれば、これを準用する。 なお、これによりがたい場合は、過去の実績等を調査し、これらを基に決定する。</p> <p style="text-align: center;">別表 主な漁港漁場関係工事用作業船の積算基準上の扱い</p> <table border="1" data-bbox="1531 716 2564 1822"> <thead> <tr> <th rowspan="2">船種</th> <th rowspan="2">積算基準で規格区分の範囲が明示されている船種 (A)</th> <th colspan="2">(A) 以外の船種の扱い</th> </tr> <tr> <th>(B)</th> <th>(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td colspan="4">(主作業船)</td></tr> <tr><td>ポンプ浚渫船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>グラブ浚渫船（硬土盤用含む）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>バックホウ浚渫船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>リクレーマ船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>バージアンローダ船</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>空気圧送船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>旋回起重機船（非航・自航）</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>固定起重機船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>クレーン付台船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>杭打船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>コンクリートミキサー船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>ケーソン製作用台船</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>深層混合処理船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>サンドコンパクション船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">(付属作業船)</td></tr> <tr><td>揚錨船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>引船・押船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>交通船、潜水士船、安全監視船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>ガット船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ガットバージ</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>土運船・押航土運船</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>台船</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> </tbody> </table>	船種	積算基準で規格区分の範囲が明示されている船種 (A)	(A) 以外の船種の扱い		(B)	(C)	(主作業船)				ポンプ浚渫船	○			グラブ浚渫船（硬土盤用含む）	○			バックホウ浚渫船	○			リクレーマ船	○			バージアンローダ船			○	空気圧送船	○			旋回起重機船（非航・自航）		○		固定起重機船		○		クレーン付台船		○		杭打船		○		コンクリートミキサー船		○		ケーソン製作用台船			○	深層混合処理船	○			サンドコンパクション船		○		(付属作業船)				揚錨船		○		引船・押船		○		交通船、潜水士船、安全監視船		○		ガット船	○			ガットバージ		○		土運船・押航土運船	○			台船		○		<p>誤植の修正</p> <p>文言削除にともなう修正</p>
船種	積算基準で規格区分の範囲が明示されている船種 (A)			(A) 以外の船種の扱い																																																																																																																																																																																																							
		(B)	(C)																																																																																																																																																																																																								
(主作業船)																																																																																																																																																																																																											
ポンプ浚渫船	○																																																																																																																																																																																																										
グラブ浚渫船（硬土盤用含む）	○																																																																																																																																																																																																										
バックホウ浚渫船	○																																																																																																																																																																																																										
リクレーマ船	○																																																																																																																																																																																																										
バージアンローダ船			○																																																																																																																																																																																																								
空気圧送船	○																																																																																																																																																																																																										
旋回起重機船（非航・自航）		○																																																																																																																																																																																																									
固定起重機船		○																																																																																																																																																																																																									
クレーン付台船		○																																																																																																																																																																																																									
杭打船		○																																																																																																																																																																																																									
コンクリートミキサー船		○																																																																																																																																																																																																									
ケーソン製作用台船			○																																																																																																																																																																																																								
深層混合処理船	○																																																																																																																																																																																																										
<u>サンドドレーン船</u>		○																																																																																																																																																																																																									
サンドコンパクション船		○																																																																																																																																																																																																									
(付属作業船)																																																																																																																																																																																																											
揚錨船		○																																																																																																																																																																																																									
引船・押船		○																																																																																																																																																																																																									
交通船、潜水士船、安全監視船		○																																																																																																																																																																																																									
ガット船	○																																																																																																																																																																																																										
ガットバージ		○																																																																																																																																																																																																									
土運船・押航土運船	○																																																																																																																																																																																																										
台船		○																																																																																																																																																																																																									
船種	積算基準で規格区分の範囲が明示されている船種 (A)	(A) 以外の船種の扱い																																																																																																																																																																																																									
		(B)	(C)																																																																																																																																																																																																								
(主作業船)																																																																																																																																																																																																											
ポンプ浚渫船	○																																																																																																																																																																																																										
グラブ浚渫船（硬土盤用含む）	○																																																																																																																																																																																																										
バックホウ浚渫船	○																																																																																																																																																																																																										
リクレーマ船	○																																																																																																																																																																																																										
バージアンローダ船			○																																																																																																																																																																																																								
空気圧送船	○																																																																																																																																																																																																										
旋回起重機船（非航・自航）		○																																																																																																																																																																																																									
固定起重機船		○																																																																																																																																																																																																									
クレーン付台船		○																																																																																																																																																																																																									
杭打船		○																																																																																																																																																																																																									
コンクリートミキサー船		○																																																																																																																																																																																																									
ケーソン製作用台船			○																																																																																																																																																																																																								
深層混合処理船	○																																																																																																																																																																																																										
サンドコンパクション船		○																																																																																																																																																																																																									
(付属作業船)																																																																																																																																																																																																											
揚錨船		○																																																																																																																																																																																																									
引船・押船		○																																																																																																																																																																																																									
交通船、潜水士船、安全監視船		○																																																																																																																																																																																																									
ガット船	○																																																																																																																																																																																																										
ガットバージ		○																																																																																																																																																																																																									
土運船・押航土運船	○																																																																																																																																																																																																										
台船		○																																																																																																																																																																																																									

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
2節 間接工事費 P2-2-2	<p>②海上輸送に要する補正 海上作業がある工事については、現場労務者、現場従業員および作業船乗組員等の海上輸送費用として「表一①共通仮設費率」により求めた率に下表の補正係数を乗じるものとする。 なお、海上作業とは現場労務者、現場従業員および作業船乗組員が陸路で直接現場までの移動が困難な場合をいう。 陸上作業と混在する場合の計上の有無の判断基準は海上作業の有無によるものとし、海上作業がある場合は、補正係数を乗じるものとする。</p>	<p>②海上輸送に要する補正 現場労務者、現場従業員および作業船乗組員等が陸路で直接現場までの移動が困難な海上作業がある工事については、海上輸送費用として「表一①共通仮設費率」により求めた率に下表の補正係数を乗じるものとする。 なお、陸上作業と混在する場合の計上の有無の判断基準は海上作業の有無によるものとし、海上作業がある場合は、補正係数を乗じるものとする。</p>	記載の見直し
2節 間接工事費 P2-2-6	<p>2-1-1-3 積算の方法 現場環境改善費の算定は、率計算による額と積上げ計算による額とを加算して行う。 1) 率計算による部分 (1) 率計算による額の算定 現場環境改善費（率部分）は、工種区分にしたがって、「表-② 現場環境改善費率」により求めた率に対象額を乗じて得た額とする。 対象額は、直接工事費（処分費等を除く共通仮設費対象額）、支給材料費および事業損失防止施設費の合計額とする。</p>	<p>2-1-1-3 積算の方法 現場環境改善費の算定は、率計算による額と積上げ計算による額とを加算して行う。 1) 率計算による部分 (1) 率計算による額の算定 現場環境改善費（率部分）は、工種区分にしたがって、「表-② 現場環境改善費率」により求めた率に対象額を乗じて得た額とする。 対象額は、直接工事費（処分費等を除く共通仮設費対象額）、支給材料費および事業損失防止施設費の合計額とする。<u>ただし、別途製作した材料（ケーソン、ブロック等）および発生材料は、無価計上とする。</u></p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																																
第1部 漁港漁場工事積算 基準 第2章 工事費の積算 2節 間接工事費 P2-2-7	<p style="text-align: center;">表-② 現場環境改善費率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">対象額</th> <th colspan="2">600万円以下</th> <th colspan="2">600万円を超え20億円以下</th> <th rowspan="2">20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th colspan="2">適用区分等 下記の率とする</th> <th colspan="2">算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による</th> </tr> <tr> <th colspan="2">工種区分</th> <th colspan="2"></th> <th>a</th> <th>b</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">漁港 漁場 関係 工事</td> <td>浚渫工事</td> <td colspan="2">0.92 %</td> <td>159.8</td> <td>-0.3301</td> <td>0.14 %</td> </tr> <tr> <td>構造物工事</td> <td colspan="2">2.02 %</td> <td>1192.6</td> <td>-0.4089</td> <td>0.19 %</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">対象額</th> <th colspan="2">600万円以下</th> <th colspan="2">600万円を超え10億円以下</th> <th rowspan="2">10億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th colspan="2">適用区分等 下記の率とする</th> <th colspan="2">算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による</th> </tr> <tr> <th colspan="2">工種区分</th> <th colspan="2"></th> <th>a</th> <th>b</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">海岸工事</td> <td colspan="2">2.02 %</td> <td>1192.6</td> <td>-0.4089</td> <td>0.25 %</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現場環境改善費率の算定式</p> $I_r = a \cdot P^b \quad (\text{小数3位四捨五入})$ <p>ただし、 I_r : 現場環境改善費率 (%) P : 現場環境改善費率の算出対象額 (円) a、b : 定数値</p>	対象額		600万円以下		600万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	適用区分等 下記の率とする		算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		工種区分				a	b	下記の率とする	漁港 漁場 関係 工事	浚渫工事	0.92 %		159.8	-0.3301	0.14 %	構造物工事	2.02 %		1192.6	-0.4089	0.19 %	対象額		600万円以下		600万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの	適用区分等 下記の率とする		算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		工種区分				a	b	下記の率とする	海岸工事		2.02 %		1192.6	-0.4089	0.25 %	<p style="text-align: center;">表-② 現場環境改善費率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">対象額</th> <th colspan="2">600万円以下</th> <th colspan="2">600万円を超え20億円以下</th> <th rowspan="2">20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th colspan="2">適用区分等 下記の率とする</th> <th colspan="2">算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による</th> </tr> <tr> <th colspan="2">工種区分</th> <th colspan="2"></th> <th>a</th> <th>b</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">漁港 漁場 関係 工事</td> <td>浚渫工事</td> <td colspan="2">2.58 %</td> <td>11,342.3</td> <td>-0.5375</td> <td>0.11 %</td> </tr> <tr> <td>構造物工事</td> <td colspan="2">2.02 %</td> <td>1192.6</td> <td>-0.4089</td> <td>0.19 %</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">対象額</th> <th colspan="2">600万円以下</th> <th colspan="2">600万円を超え10億円以下</th> <th rowspan="2">10億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th colspan="2">適用区分等 下記の率とする</th> <th colspan="2">算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による</th> </tr> <tr> <th colspan="2">工種区分</th> <th colspan="2"></th> <th>a</th> <th>b</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">海岸工事</td> <td colspan="2">4.02 %</td> <td>17,100.2</td> <td>-0.5353</td> <td>0.26 %</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現場環境改善費率の算定式</p> $I_r = a \cdot P^b \quad (\text{小数3位四捨五入})$ <p>ただし、 I_r : 現場環境改善費率 (%) P : 現場環境改善費率の算出対象額 (円) a、b : 定数値</p>	対象額		600万円以下		600万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	適用区分等 下記の率とする		算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		工種区分				a	b	下記の率とする	漁港 漁場 関係 工事	浚渫工事	2.58 %		11,342.3	-0.5375	0.11 %	構造物工事	2.02 %		1192.6	-0.4089	0.19 %	対象額		600万円以下		600万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの	適用区分等 下記の率とする		算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		工種区分				a	b	下記の率とする	海岸工事		4.02 %		17,100.2	-0.5353	0.26 %	<p>諸経費動向調査結果 に伴う改定</p>
対象額				600万円以下		600万円を超え20億円以下			20億円を超えるもの																																																																																																										
		適用区分等 下記の率とする		算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による																																																																																																															
工種区分				a	b	下記の率とする																																																																																																													
漁港 漁場 関係 工事	浚渫工事	0.92 %		159.8	-0.3301		0.14 %																																																																																																												
	構造物工事	2.02 %		1192.6	-0.4089	0.19 %																																																																																																													
対象額		600万円以下		600万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの																																																																																																													
		適用区分等 下記の率とする		算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による																																																																																																															
工種区分				a	b	下記の率とする																																																																																																													
海岸工事		2.02 %		1192.6	-0.4089		0.25 %																																																																																																												
対象額		600万円以下		600万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																																																																													
		適用区分等 下記の率とする		算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による																																																																																																															
工種区分				a	b	下記の率とする																																																																																																													
漁港 漁場 関係 工事	浚渫工事	2.58 %		11,342.3	-0.5375		0.11 %																																																																																																												
	構造物工事	2.02 %		1192.6	-0.4089	0.19 %																																																																																																													
対象額		600万円以下		600万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの																																																																																																													
		適用区分等 下記の率とする		算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による																																																																																																															
工種区分				a	b	下記の率とする																																																																																																													
海岸工事		4.02 %		17,100.2	-0.5353		0.26 %																																																																																																												

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																																		
第1部 漁港漁場関係工事 積算基準 第2章 工事費の積算 2節 間接工事費 P2-2-10	<p style="text-align: center;">表-③ 現場管理費率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">対象額</th> <th colspan="2">700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え20億円以下</th> <th rowspan="2">20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th colspan="2">下記の率とする</th> <th colspan="2">算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">工種区分</th> <th rowspan="2">適用区分等</th> <th colspan="2"></th> <th>a</th> <th>b</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁港漁場関係工事</td> <td>浚渫工事</td> <td>23.71 %</td> <td></td> <td>99.2</td> <td>-0.0908</td> <td>14.19 %</td> </tr> <tr> <td></td> <td>構造物工事</td> <td>24.36 %</td> <td></td> <td>46.7</td> <td>-0.0413</td> <td>19.28 %</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">対象額</th> <th colspan="2">700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え10億円以下</th> <th rowspan="2">10億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th colspan="2">下記の率とする</th> <th colspan="2">算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">工種区分</th> <th rowspan="2">適用区分等</th> <th colspan="2"></th> <th>a</th> <th>b</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海岸工事</td> <td></td> <td>27.79 %</td> <td></td> <td>113.9</td> <td>-0.0895</td> <td>17.82 %</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現場管理費率の算定式</p> $J_o = a \cdot N_p^b \quad (\text{小数3位四捨五入})$ <p>ただし、 J_o : 現場管理費率 (%) N_p : 純工事費 (円) a, b : 定数値</p>	対象額		700万円以下		700万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による		工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする	漁港漁場関係工事	浚渫工事	23.71 %		99.2	-0.0908	14.19 %		構造物工事	24.36 %		46.7	-0.0413	19.28 %	対象額		700万円以下		700万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの	下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による		工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする	海岸工事		27.79 %		113.9	-0.0895	17.82 %	<p style="text-align: center;">表-③ 現場管理費率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">対象額</th> <th colspan="2">700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え20億円以下</th> <th rowspan="2">20億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th colspan="2">下記の率とする</th> <th colspan="2">算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">工種区分</th> <th rowspan="2">適用区分等</th> <th colspan="2"></th> <th>a</th> <th>b</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁港漁場関係工事</td> <td>浚渫工事</td> <td>24.08 %</td> <td></td> <td>82.2</td> <td>-0.0779</td> <td>15.50 %</td> </tr> <tr> <td></td> <td>構造物工事</td> <td>24.65 %</td> <td></td> <td>40.5</td> <td>-0.0315</td> <td>20.63 %</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">対象額</th> <th colspan="2">700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え10億円以下</th> <th rowspan="2">10億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th colspan="2">下記の率とする</th> <th colspan="2">算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">工種区分</th> <th rowspan="2">適用区分等</th> <th colspan="2"></th> <th>a</th> <th>b</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海岸工事</td> <td></td> <td>28.11 %</td> <td></td> <td>100.3</td> <td>-0.0807</td> <td>18.84 %</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現場管理費率の算定式</p> $J_o = a \cdot N_p^b \quad (\text{小数3位四捨五入})$ <p>ただし、 J_o : 現場管理費率 (%) N_p : 純工事費 (円) a, b : 定数値</p>	対象額		700万円以下		700万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの	下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による		工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする	漁港漁場関係工事	浚渫工事	24.08 %		82.2	-0.0779	15.50 %		構造物工事	24.65 %		40.5	-0.0315	20.63 %	対象額		700万円以下		700万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの	下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による		工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする	海岸工事		28.11 %		100.3	-0.0807	18.84 %	諸経費動向調査結果に伴う改定
対象額				700万円以下		700万円を超え20億円以下			20億円を超えるもの																																																																																																												
		下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による																																																																																																																	
工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする																																																																																																															
		漁港漁場関係工事	浚渫工事	23.71 %			99.2	-0.0908	14.19 %																																																																																																												
	構造物工事	24.36 %		46.7	-0.0413	19.28 %																																																																																																															
対象額		700万円以下		700万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの																																																																																																															
		下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による																																																																																																																	
工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする																																																																																																															
		海岸工事		27.79 %			113.9	-0.0895	17.82 %																																																																																																												
対象額		700万円以下		700万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの																																																																																																															
		下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による																																																																																																																	
工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする																																																																																																															
		漁港漁場関係工事	浚渫工事	24.08 %			82.2	-0.0779	15.50 %																																																																																																												
	構造物工事	24.65 %		40.5	-0.0315	20.63 %																																																																																																															
対象額		700万円以下		700万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの																																																																																																															
		下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による																																																																																																																	
工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする																																																																																																															
		海岸工事		28.11 %			100.3	-0.0807	18.84 %																																																																																																												
第1部 漁港漁場関係工事 積算基準 第2章 工事費の積算 2節 間接工事費 補足資料 P2-2-(3)	<p style="text-align: center;">表-② 現場管理費率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">対象額</th> <th colspan="2">700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え4億円以下</th> <th rowspan="2">4億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th colspan="2">下記の率とする</th> <th colspan="2">算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">工種区分</th> <th rowspan="2">適用区分等</th> <th colspan="2"></th> <th>a</th> <th>b</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁港漁場関係 構造物工事</td> <td></td> <td>22.48 %</td> <td></td> <td>96.9</td> <td>-0.0927</td> <td>15.45 %</td> </tr> <tr> <td>海岸工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現場管理費率の算定式</p> $J_o = a \cdot N_p^b \quad (\text{小数3位四捨五入})$ <p>ただし、 J_o : 現場管理費率 (%) N_p : 純工事費 (円) a, b : 定数値</p>	対象額		700万円以下		700万円を超え4億円以下		4億円を超えるもの	下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による		工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする	漁港漁場関係 構造物工事		22.48 %		96.9	-0.0927	15.45 %	海岸工事							<p style="text-align: center;">表-② 現場管理費率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">対象額</th> <th colspan="2">700万円以下</th> <th colspan="2">700万円を超え4億円以下</th> <th rowspan="2">4億円を超えるもの</th> </tr> <tr> <th colspan="2">下記の率とする</th> <th colspan="2">算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">工種区分</th> <th rowspan="2">適用区分等</th> <th colspan="2"></th> <th>a</th> <th>b</th> <th rowspan="2">下記の率とする</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁港漁場関係 構造物工事</td> <td></td> <td>22.74 %</td> <td></td> <td>88.2</td> <td>-0.0860</td> <td>16.06 %</td> </tr> <tr> <td>海岸工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現場管理費率の算定式</p> $J_o = a \cdot N_p^b \quad (\text{小数3位四捨五入})$ <p>ただし、 J_o : 現場管理費率 (%) N_p : 純工事費 (円) a, b : 定数値</p>	対象額		700万円以下		700万円を超え4億円以下		4億円を超えるもの	下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による		工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする	漁港漁場関係 構造物工事		22.74 %		88.2	-0.0860	16.06 %	海岸工事							諸経費動向調査結果に伴う改定																																																		
対象額				700万円以下		700万円を超え4億円以下			4億円を超えるもの																																																																																																												
		下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による																																																																																																																	
工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする																																																																																																															
		漁港漁場関係 構造物工事		22.48 %			96.9	-0.0927	15.45 %																																																																																																												
海岸工事																																																																																																																					
対象額		700万円以下		700万円を超え4億円以下		4億円を超えるもの																																																																																																															
		下記の率とする		算定式により算出された率とする。ただし、定数値は下記による																																																																																																																	
工種区分	適用区分等			a	b	下記の率とする																																																																																																															
		漁港漁場関係 構造物工事		22.74 %			88.2	-0.0860	16.06 %																																																																																																												
海岸工事																																																																																																																					

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 その他 P2-4-5	<p>(2) 算定方法 工期延長等に伴う現場維持等に要する費用の算定は、下記の式により算定する。 $G = dg \times J + \alpha$ ただし、 G：工期延長等に伴う現場維持等の費用（単位 円 1,000円未満切り捨て） dg：工期延長等に係る現場経費率（% 小数4位四捨五入3位止め） （前記1-1-2）(1)に示す率項目 J：対象額（工期延長等時点の契約上の現場管理費対象純工事費）（単位 円 1,000円未満切り捨て） α：積上げ費用（単位 円 1,000円未満切り捨て） （前記1-1-2）(1)に示す率項目</p> <p>①工期延長等に伴い増加する現場経費率</p> $dg = \left[A \left\{ \left(\frac{J}{a \times J^b + N} \right)^a - \left(\frac{J}{a \times J^b} \right)^a \right\} \right] + \frac{(N \times R \times 100)}{J}$ <p>ただし、 dg：工期延長等に伴い増加する現場経費率（% 小数4位四捨五入3位止め） （前記1-1-2）(2)に示す率項目 J：対象額（工期延長等時点の契約上の現場管理費対象純工事費）（単位 円 1,000円未満切り捨て） N：工期延長等日数（日） ただし、部分中止の場合は、部分中止に伴う工期延長等日数。 R：公共工事設計労務単価（土木一般世話役） A：<input type="text"/></p> <p>B：<input type="text"/> 各工種毎に決まる係数「表-1 工種区別の現場経費率係数表」 a：<input type="text"/> b：<input type="text"/></p>	<p>(2) 算定方法 工期延長等に伴う現場維持等に要する費用の算定は、下記の式により算定する。 $G = dg \times J + \alpha$ ただし、 G：工期延長等に伴う現場維持等の費用（単位 円 1,000円未満切り捨て） dg：工期延長等に係る現場経費率（% 小数4位四捨五入3位止め） （前記1-1-2）(2)に示す率項目 J：対象額（工期延長等時点の契約上の現場管理費対象純工事費）（単位 円 1,000円未満切り捨て） α：積上げ費用（単位 円 1,000円未満切り捨て） （前記1-1-2）(1)に示す積上げ項目</p> <p>①工期延長等に伴い増加する現場経費率</p> $dg = \left[A \left\{ \left(\frac{J}{a \times J^b + N} \right)^a - \left(\frac{J}{a \times J^b} \right)^a \right\} \right] + \frac{(N \times R \times 100)}{J}$ <p>ただし、 dg：工期延長等に伴い増加する現場経費率（% 小数4位四捨五入3位止め） （前記1-1-2）(2)に示す率項目 J：対象額（工期延長等時点の契約上の現場管理費対象純工事費）（単位 円 1,000円未満切り捨て） N：工期延長等日数（日） ただし、部分中止の場合は、部分中止に伴う工期延長等日数。 R：公共工事設計労務単価（土木一般世話役） A：<input type="text"/></p> <p>B：<input type="text"/> 各工種毎に決まる係数「表-1 工種区別の現場経費率係数表」 a：<input type="text"/> b：<input type="text"/></p>	<p>誤植の訂正</p> <p>記載の見直し</p>

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																								
1節 浚渫・土捨工 参考資料-4 P3-1-(23)	<p>3) バックホウ規格の組合せ</p> <table border="1" data-bbox="409 306 1365 489"> <thead> <tr> <th>バケット総容量</th> <th>バックホウ規格の組合せ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 m³</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m³ (平積1.0m³) × 1台</td> </tr> <tr> <td>2 m³</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m³ (平積1.0m³) × 2台</td> </tr> <tr> <td>3 m³</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.9m³ (平積1.4m³) × 2台</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) バケット総容量が3 m³を超える場合は別途検討する。</p>	バケット総容量	バックホウ規格の組合せ	1 m ³	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³) × 1台	2 m ³	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³) × 2台	3 m ³	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.9m ³ (平積1.4m ³) × 2台	<p>3) バックホウ規格の組合せ</p> <table border="1" data-bbox="1596 306 2552 489"> <thead> <tr> <th>バケット総容量</th> <th>バックホウ規格の組合せ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 m³</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.4m³ (平積1.0m³) × 1台</td> </tr> <tr> <td>2 m³</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.4m³ (平積1.0m³) × 2台</td> </tr> <tr> <td>3 m³</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.9m³ (平積1.4m³) × 2台</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) バケット総容量が3 m³を超える場合は別途検討する。</p>	バケット総容量	バックホウ規格の組合せ	1 m ³	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³) × 1台	2 m ³	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³) × 2台	3 m ³	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.9m ³ (平積1.4m ³) × 2台	排出ガス対策型の基準値改定に伴う修正																								
バケット総容量	バックホウ規格の組合せ																																										
1 m ³	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³) × 1台																																										
2 m ³	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³) × 2台																																										
3 m ³	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.9m ³ (平積1.4m ³) × 2台																																										
バケット総容量	バックホウ規格の組合せ																																										
1 m ³	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³) × 1台																																										
2 m ³	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³) × 2台																																										
3 m ³	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.9m ³ (平積1.4m ³) × 2台																																										
1節 浚渫・土捨工 参考資料-4 P3-1-(24)	<p>2) 代価表 (1) バックホウ揚土 1日 (m³) 当り</p> <table border="1" data-bbox="409 646 1365 829"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) m³</td> <td>日</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) m³</td> <td>日</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) m ³	日		標準運転時間	〃	排出ガス対策型(第1次基準値) m ³	日		標準運転時間	雑材料					<p>2) 代価表 (1) バックホウ揚土 1日 (m³) 当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 646 2552 829"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) m³</td> <td>日</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) m³</td> <td>日</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) m ³	日		標準運転時間	〃	排出ガス対策型(第2次基準値) m ³	日		標準運転時間	雑材料					排出ガス対策型の基準値改定に伴う修正
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																							
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) m ³	日		標準運転時間																																							
〃	排出ガス対策型(第1次基準値) m ³	日		標準運転時間																																							
雑材料																																											
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																							
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) m ³	日		標準運転時間																																							
〃	排出ガス対策型(第2次基準値) m ³	日		標準運転時間																																							
雑材料																																											

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
2節 海上地盤改良工 目次	2節 海上地盤改良工 7. 圧密・排水工 7-1 敷砂 7-1-1 適用範囲 ----- 3-2-27 7-1-2 施工フロー ----- 3-2-27 7-1-3 代価表作成手順 ----- 3-2-27 7-1-4 施工方式 ----- 3-2-27 7-1-5 施工歩掛 ----- 3-2-28 7-2 敷砂均し 7-2-1 適用範囲 ----- 3-2-29 7-2-2 施工フロー ----- 3-2-29 7-2-3 代価表作成手順 ----- 3-2-29 7-2-4 施工方式 ----- 3-2-29 7-2-5 施工歩掛 ----- 3-2-29 7-3 載荷土砂 7-3-1 適用範囲 ----- 3-2-30 7-3-2 施工フロー ----- 3-2-30 7-3-3 代価表作成手順 ----- 3-2-30 7-3-4 載荷土砂投入 7-3-4-1 施工方式 ----- 3-2-30 7-3-4-2 施工歩掛 ----- 3-2-30 7-3-5 載荷土砂均し 7-3-5-1 施工方式 ----- 3-2-31 7-3-5-2 施工歩掛 ----- 3-2-31 7-3-6 載荷土砂撤去 ----- 3-2-31 8. 締固工 8-1 適用範囲 ----- 3-2-32 8-2 施工フロー ----- 3-2-32 8-3 サンドコンパクションパイル 8-3-1 代価表作成手順 ----- 3-2-32 8-3-2 サンドコンパクション船の規格選定 ----- 3-2-34 8-3-3 標準的な船団構成 ----- 3-2-35 8-3-4 施工歩掛 ----- 3-2-35 8-4 盛上土砂撤去 ----- 3-2-37 8-5 敷砂 ----- 3-2-37 8-6 敷砂均し ----- 3-2-37 9. 固化工 9-1 適用範囲 ----- 3-2-38 9-2 施工フロー ----- 3-2-38 9-3 深層混合処理杭 9-3-1 代価表作成手順 ----- 3-2-38 9-3-2 深層混合処理船の規格選定 ----- 3-2-39 9-3-3 主作業船の規格区分と船団構成 ----- 3-2-40 9-3-4 施工歩掛 ----- 3-2-41 9-4 盛土土砂撤去 ----- 3-2-43 9-5 敷砂 ----- 3-2-43 9-6 敷砂均し ----- 3-2-43 参考資料 参考資料-1 サンドドレーン ----- 3-2-(1) 参考資料-2 水中人力床掘（土砂・砂レキ・岩盤） ----- 3-2-(5) 補足資料 補足資料-1 海上地盤改良工 ----- 3-2-(7)	2節 海上地盤改良工 7. 圧密・排水工 7-1 敷砂 7-1-1 適用範囲 ----- 3-2-27 7-1-2 施工フロー ----- 3-2-27 7-1-3 代価表作成手順 ----- 3-2-27 7-1-4 施工方式 ----- 3-2-27 7-1-5 施工歩掛 ----- 3-2-28 7-2 敷砂均し 7-2-1 適用範囲 ----- 3-2-29 7-2-2 施工フロー ----- 3-2-29 7-2-3 代価表作成手順 ----- 3-2-29 7-2-4 施工方式 ----- 3-2-29 7-2-5 施工歩掛 ----- 3-2-29 7-3 載荷土砂 7-3-1 適用範囲 ----- 3-2-30 7-3-2 施工フロー ----- 3-2-30 7-3-3 代価表作成手順 ----- 3-2-30 7-3-4 載荷土砂投入 7-3-4-1 施工方式 ----- 3-2-30 7-3-4-2 施工歩掛 ----- 3-2-30 7-3-5 載荷土砂均し 7-3-5-1 施工方式 ----- 3-2-31 7-3-5-2 施工歩掛 ----- 3-2-31 7-3-6 載荷土砂撤去 ----- 3-2-31 8. 締固工 8-1 適用範囲 ----- 3-2-32 8-2 施工フロー ----- 3-2-32 8-3 サンドコンパクションパイル 8-3-1 代価表作成手順 ----- 3-2-32 8-3-2 サンドコンパクション船の規格選定 ----- 3-2-34 8-3-3 標準的な船団構成 ----- 3-2-35 8-3-4 施工歩掛 ----- 3-2-35 8-4 盛上土砂撤去 ----- 3-2-37 8-5 敷砂 ----- 3-2-37 8-6 敷砂均し ----- 3-2-37 9. 固化工 9-1 適用範囲 ----- 3-2-38 9-2 施工フロー ----- 3-2-38 9-3 深層混合処理杭 9-3-1 代価表作成手順 ----- 3-2-38 9-3-2 深層混合処理船の規格選定 ----- 3-2-39 9-3-3 主作業船の規格区分と船団構成 ----- 3-2-40 9-3-4 施工歩掛 ----- 3-2-41 9-4 盛土土砂撤去 ----- 3-2-43 9-5 敷砂 ----- 3-2-43 9-6 敷砂均し ----- 3-2-43 参考資料 参考資料-1 水中人力床掘（土砂・砂レキ・岩盤） ----- 3-2-(1) 補足資料 補足資料-1 海上地盤改良工 ----- 3-2-(3)	項目の削除 ページ数の修正

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

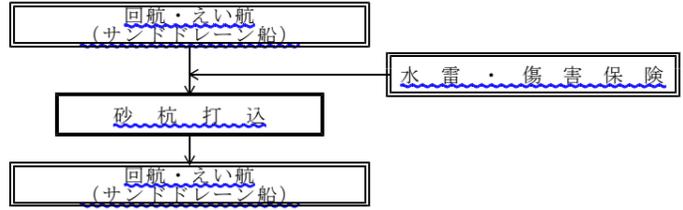
掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
P3-2-2			文言の削除
P3-2-4	<p>[圧密・排水工]</p> <p>7-1</p> <p>敷砂の積算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表</p> <p>サンドドレーンの積算 「本節 参考資料-1 サンドドレーン」参照 → ・砂杭打込 代価表 ・拘束 代価表</p> <p>サンドドレーン船規格選定 船団構成決定 能力係数の算定 1日当り作業能力の算定 1日当り砂量の算定 拘束日数の決定 代価表の作成</p> <p>7-3</p> <p>載荷土砂の積算 載荷土砂撤去は、「本節 2. 床掘工」参照 → ・載荷土砂投入 代価表 ・載荷土砂均し 代価表</p>	<p>[圧密・排水工]</p> <p>7-1</p> <p>敷砂の積算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表</p> <p>船団構成決定 能力係数の算定 1日当り作業能力の算定 1日当り砂量の算定 拘束日数の決定 代価表の作成</p> <p>7-3</p> <p>載荷土砂の積算 載荷土砂撤去は、「本節 2. 床掘工」参照 → ・載荷土砂投入 代価表 ・載荷土砂均し 代価表</p>	文言の削除

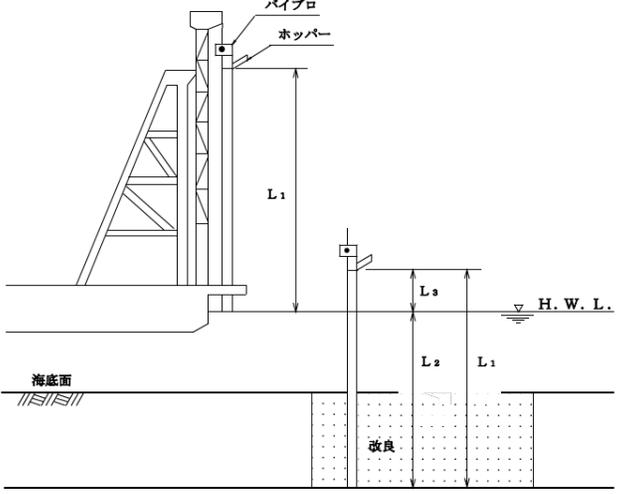
令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																																																																									
P3-2-5	<p>1-5 数量計算等 1-5-1 集計数値</p> <table border="1" data-bbox="409 327 1323 1010"> <thead> <tr> <th>種別(レハ°ル3)</th> <th>細別(レハ°ル4)</th> <th>内 容</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床 掘 工</td> <td>—</td> <td rowspan="5">※「1節 浚渫・土捨工」 を適用する。</td> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5">1位止めを原則とする。</td> <td rowspan="5">四捨五入</td> </tr> <tr> <td>排砂管設備工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>土運船運搬工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>揚土土捨工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>置 換 工</td> <td>置 換 材</td> <td>置 換 砂 量</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td>置 換 材 均 し</td> <td>水 中 均 し 面 積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">圧密・排水工</td> <td>敷 砂</td> <td>敷 砂 量</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>敷 砂 均 し</td> <td>水 中 均 し 面 積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td><u>サンドドレーン</u></td> <td><u>砂 杭 本 数</u></td> <td><u>本</u></td> </tr> <tr> <td>載 荷 土 砂</td> <td>載 荷 土 砂 量</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水 中 均 し 面 積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>締 固 工</td> <td>サントコンパクション パイル</td> <td>締固砂杭本数</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>固 化 工</td> <td>深層混合 処理杭</td> <td>深層混合 処理杭本数</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-5-2 材料割増率</p> <table border="1" data-bbox="409 1073 1323 1440"> <thead> <tr> <th>種別(レハ°ル3)</th> <th>細別(レハ°ル4)</th> <th>内 容</th> <th>割増率(%)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>置 換 工</td> <td>置 換 材</td> <td>置 換 砂</td> <td>30</td> <td rowspan="6"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">圧密・排水工</td> <td>敷 砂</td> <td>敷 砂</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td><u>サンドドレーン</u></td> <td><u>砂 杭 用 砂</u></td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>載 荷 土 砂</td> <td>載 荷 土 砂</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>締 固 工</td> <td>サントコンパクション パイル</td> <td>締固砂杭用砂</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>固 化 工</td> <td>深層混合 処理杭</td> <td>セ メ ン ト</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 上記により難しい場合は、別途考慮する。</p>	種別(レハ°ル3)	細別(レハ°ル4)	内 容	単 位	数 位	摘 要	床 掘 工	—	※「1節 浚渫・土捨工」 を適用する。		1位止めを原則とする。	四捨五入	排砂管設備工	—	土運船運搬工	—	揚土土捨工	—	置 換 工	置 換 材	置 換 砂 量	m ³		置 換 材 均 し	水 中 均 し 面 積	m ²	圧密・排水工	敷 砂	敷 砂 量	m ³	敷 砂 均 し	水 中 均 し 面 積	m ²	<u>サンドドレーン</u>	<u>砂 杭 本 数</u>	<u>本</u>	載 荷 土 砂	載 荷 土 砂 量	m ³			水 中 均 し 面 積	m ²	締 固 工	サントコンパクション パイル	締固砂杭本数	本	固 化 工	深層混合 処理杭	深層混合 処理杭本数	〃	種別(レハ°ル3)	細別(レハ°ル4)	内 容	割増率(%)	摘 要	置 換 工	置 換 材	置 換 砂	30		圧密・排水工	敷 砂	敷 砂	40	<u>サンドドレーン</u>	<u>砂 杭 用 砂</u>	35	載 荷 土 砂	載 荷 土 砂	30	締 固 工	サントコンパクション パイル	締固砂杭用砂	45	固 化 工	深層混合 処理杭	セ メ ン ト	10	<p>1-5 数量計算等 1-5-1 集計数値</p> <table border="1" data-bbox="1596 327 2510 968"> <thead> <tr> <th>種別(レハ°ル3)</th> <th>細別(レハ°ル4)</th> <th>内 容</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床 掘 工</td> <td>—</td> <td rowspan="5">※「1節 浚渫・土捨工」 を適用する。</td> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5">1位止めを原則とする。</td> <td rowspan="5">四捨五入</td> </tr> <tr> <td>排砂管設備工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>土運船運搬工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>揚土土捨工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>置 換 工</td> <td>置 換 材</td> <td>置 換 砂 量</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td>置 換 材 均 し</td> <td>水 中 均 し 面 積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">圧密・排水工</td> <td>敷 砂</td> <td>敷 砂 量</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>敷 砂 均 し</td> <td>水 中 均 し 面 積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">載 荷 土 砂</td> <td>載 荷 土 砂 量</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>水 中 均 し 面 積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>締 固 工</td> <td>サントコンパクション パイル</td> <td>締固砂杭本数</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>固 化 工</td> <td>深層混合 処理杭</td> <td>深層混合 処理杭本数</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-5-2 材料割増率</p> <table border="1" data-bbox="1596 1073 2510 1440"> <thead> <tr> <th>種別(レハ°ル3)</th> <th>細別(レハ°ル4)</th> <th>内 容</th> <th>割増率(%)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>置 換 工</td> <td>置 換 材</td> <td>置 換 砂</td> <td>30</td> <td rowspan="6"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">圧密・排水工</td> <td>敷 砂</td> <td>敷 砂</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td><u>サンドドレーン</u></td> <td><u>砂 杭 用 砂</u></td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>載 荷 土 砂</td> <td>載 荷 土 砂</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>締 固 工</td> <td>サントコンパクション パイル</td> <td>締固砂杭用砂</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>固 化 工</td> <td>深層混合 処理杭</td> <td>セ メ ン ト</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 上記により難しい場合は、別途考慮する。</p>	種別(レハ°ル3)	細別(レハ°ル4)	内 容	単 位	数 位	摘 要	床 掘 工	—	※「1節 浚渫・土捨工」 を適用する。		1位止めを原則とする。	四捨五入	排砂管設備工	—	土運船運搬工	—	揚土土捨工	—	置 換 工	置 換 材	置 換 砂 量	m ³		置 換 材 均 し	水 中 均 し 面 積	m ²	圧密・排水工	敷 砂	敷 砂 量	m ³	敷 砂 均 し	水 中 均 し 面 積	m ²	載 荷 土 砂	載 荷 土 砂 量	m ³	水 中 均 し 面 積	m ²	締 固 工	サントコンパクション パイル	締固砂杭本数	本	固 化 工	深層混合 処理杭	深層混合 処理杭本数	〃	種別(レハ°ル3)	細別(レハ°ル4)	内 容	割増率(%)	摘 要	置 換 工	置 換 材	置 換 砂	30		圧密・排水工	敷 砂	敷 砂	40	<u>サンドドレーン</u>	<u>砂 杭 用 砂</u>	35	載 荷 土 砂	載 荷 土 砂	30	締 固 工	サントコンパクション パイル	締固砂杭用砂	45	固 化 工	深層混合 処理杭	セ メ ン ト	10	文言の削除
種別(レハ°ル3)	細別(レハ°ル4)	内 容	単 位	数 位	摘 要																																																																																																																																																							
床 掘 工	—	※「1節 浚渫・土捨工」 を適用する。		1位止めを原則とする。	四捨五入																																																																																																																																																							
排砂管設備工	—																																																																																																																																																											
土運船運搬工	—																																																																																																																																																											
揚土土捨工	—																																																																																																																																																											
置 換 工	置 換 材					置 換 砂 量	m ³																																																																																																																																																					
	置 換 材 均 し	水 中 均 し 面 積	m ²																																																																																																																																																									
圧密・排水工	敷 砂	敷 砂 量	m ³																																																																																																																																																									
	敷 砂 均 し	水 中 均 し 面 積	m ²																																																																																																																																																									
	<u>サンドドレーン</u>	<u>砂 杭 本 数</u>	<u>本</u>																																																																																																																																																									
	載 荷 土 砂	載 荷 土 砂 量	m ³																																																																																																																																																									
		水 中 均 し 面 積	m ²																																																																																																																																																									
締 固 工	サントコンパクション パイル	締固砂杭本数	本																																																																																																																																																									
固 化 工	深層混合 処理杭	深層混合 処理杭本数	〃																																																																																																																																																									
種別(レハ°ル3)	細別(レハ°ル4)	内 容	割増率(%)	摘 要																																																																																																																																																								
置 換 工	置 換 材	置 換 砂	30																																																																																																																																																									
圧密・排水工	敷 砂	敷 砂	40																																																																																																																																																									
	<u>サンドドレーン</u>	<u>砂 杭 用 砂</u>	35																																																																																																																																																									
	載 荷 土 砂	載 荷 土 砂	30																																																																																																																																																									
締 固 工	サントコンパクション パイル	締固砂杭用砂	45																																																																																																																																																									
固 化 工	深層混合 処理杭	セ メ ン ト	10																																																																																																																																																									
種別(レハ°ル3)	細別(レハ°ル4)	内 容	単 位	数 位	摘 要																																																																																																																																																							
床 掘 工	—	※「1節 浚渫・土捨工」 を適用する。		1位止めを原則とする。	四捨五入																																																																																																																																																							
排砂管設備工	—																																																																																																																																																											
土運船運搬工	—																																																																																																																																																											
揚土土捨工	—																																																																																																																																																											
置 換 工	置 換 材					置 換 砂 量	m ³																																																																																																																																																					
	置 換 材 均 し	水 中 均 し 面 積	m ²																																																																																																																																																									
圧密・排水工	敷 砂	敷 砂 量	m ³																																																																																																																																																									
	敷 砂 均 し	水 中 均 し 面 積	m ²																																																																																																																																																									
	載 荷 土 砂	載 荷 土 砂 量	m ³																																																																																																																																																									
		水 中 均 し 面 積	m ²																																																																																																																																																									
締 固 工	サントコンパクション パイル	締固砂杭本数	本																																																																																																																																																									
固 化 工	深層混合 処理杭	深層混合 処理杭本数	〃																																																																																																																																																									
種別(レハ°ル3)	細別(レハ°ル4)	内 容	割増率(%)	摘 要																																																																																																																																																								
置 換 工	置 換 材	置 換 砂	30																																																																																																																																																									
圧密・排水工	敷 砂	敷 砂	40																																																																																																																																																									
	<u>サンドドレーン</u>	<u>砂 杭 用 砂</u>	35																																																																																																																																																									
	載 荷 土 砂	載 荷 土 砂	30																																																																																																																																																									
締 固 工	サントコンパクション パイル	締固砂杭用砂	45																																																																																																																																																									
固 化 工	深層混合 処理杭	セ メ ン ト	10																																																																																																																																																									
P3-2-8	<p>3) <u>サンドドレーンおよびサンドコンパクションパイル</u> (1) <u>砂杭本数および締固砂杭本数</u> <u>砂杭本数および締固砂杭本数</u>は、改良区域、平面形状、造成杭径、改良杭の配置および改良率を考慮し算出する。 (2) <u>砂杭長および締固砂杭長</u> <u>砂杭長および締固砂杭長</u>は、改良ブロック毎に平均長を算出する。</p>	<p>3) <u>サンドコンパクションパイル</u> (1) <u>締固砂杭本数</u> <u>締固砂杭本数</u>は、改良区域、平面形状、造成杭径、改良杭の配置および改良率を考慮し算出する。 (2) <u>締固砂杭長</u> <u>締固砂杭長</u>は、改良ブロック毎に平均長を算出する。</p>	文言の削除																																																																																																																																																									

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲 載 頁	現 行 (令 和 5 年 度)	改 定 (令 和 6 年 度)	コ メ ン ト
P3-2-27	<p>7-1-1 適用範囲 本項は、<u>サンドドレーン等に先立って行う敷砂工事</u>に適用する。</p>	<p>7-1-1 適用範囲 本項は、敷砂工事に適用する。</p>	文言の削除
P3-2-29	<p>7-2-1 適用範囲 本項は、<u>サンドドレーン工等に先立って行う敷砂工事</u>に適用する。</p>	<p>7-2-1 適用範囲 本項は、敷砂工事に適用する。</p>	文言の削除
P3-2-30	<p>7-3-1 適用範囲 本項は、<u>サンドドレーンの後に施工される</u>載荷工事に適用する。</p>	<p>7-3-1 適用範囲 本項は、載荷工事に適用する。</p>	文言の削除

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント						
2節 海上地盤改良工 P3-2-(1)	<p>参考資料-1 サンドドレーン</p> <p>サンドドレーンに含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="409 352 1299 472"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧密・排水工</td> <td>サンドドレーン</td> <td>砂杭打込 砂杭打込 1日(本)当り サンドドレーン船拘束 1式当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-1 適用範囲 本項は、サンドドレーン船による砂杭打込工事に適用する。</p> <p>1-2 施工フロー</p>  <p>注) 本項の歩掛は、 の部分である。</p> <p>1-3 代価表作成手順 1 砂杭打込の積算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工数量、工期 ・作業船在港状況 → サンドドレーン船の規格選定 → ①サンドドレーン船の規格 ②連装数・同時造成本数 ↓ 1-4 ・現場条件 ①サンドドレーン船の規格 → 船団構成等の決定 → ③特殊作業員人数 ④砂貯蔵船計上の有無 ⑤引船計上の有無、規格 ↓ ・H、W、L ・地盤改良先端深度 → ケーシングパイプの規格選定 → ⑥ケーシングパイプの規格 ↓ ・施工場所 → 水雷・傷害保険の検討 → ・必要な場合は水雷・ 傷害保険料を計上 (共通仮設費) ↓ 1-5 ・造成杭長 ・改良面積 ・海象条件 ・障害の有無 → 能力補正係数の算定 → ⑦造成杭長能力補正係数 ⑧改良面積能力補正係数 ⑨海象条件区分能力補正 係数 ⑩障害区分能力補正係数 ↓ ②連装数・同時造成本数 ⑦造成杭長能力補正係数 ⑧改良面積能力補正係数 ⑨海象条件区分能力補正係数 ⑩障害区分能力補正係数 → 1日当り作業能力の算定 → ⑪1日当り砂杭造成本数 ↓ ・砂杭径 ・造成杭長 ⑪1日当り砂杭造成本数 → 1日当り砂量の算定 → ⑫1日当り砂量 ・現場条件 → 割増率の変更 ↓ ⑪1日当り砂杭造成本数 ⑫1日当り砂量 ①サンドドレーン船の規格 ③特殊作業員人数 ④砂貯蔵船計上の有無 ⑤引船計上の有無、規格 ⑥ケーシングパイプの規格 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・砂杭打込1日(本) 当り代価表 	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)	圧密・排水工	サンドドレーン	砂杭打込 砂杭打込 1日(本)当り サンドドレーン船拘束 1式当り		削除
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)							
圧密・排水工	サンドドレーン	砂杭打込 砂杭打込 1日(本)当り サンドドレーン船拘束 1式当り							

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																													
2節 海上地盤改良工 P3-2-(2)	<p><u>〔拘束費の積算〕</u></p> <p>①サンドドレーン船の規格 ・キャリブレーション ・その他現場条件 → <u>拘束費計上条件の検討</u> → ⑭拘束費対象船種 ⑮拘束費対象日数</p> <p>↓</p> <p>⑭拘束費対象船種 → <u>代価表の作成</u> → ・サンドドレーン船拘束 ⑮拘束費対象日数 1式当り代価表</p> <p>1-4 標準的な船団構成 1) 標準的な船団構成</p> <table border="1" data-bbox="409 531 1389 772"> <thead> <tr> <th colspan="3">標準的な船団構成</th> <th colspan="3">現場条件による追加船団</th> </tr> <tr> <th>サンドドレーン船</th> <th>ガットバージ</th> <th>揚錨船</th> <th>ケーシングパイプ</th> <th>砂貯蔵船</th> <th>引船</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6連装</td> <td rowspan="2">鋼D1,000m³積</td> <td rowspan="2">鋼D 25t吊</td> <td>長さ m 6本</td> <td rowspan="2">鋼 1,000m³積</td> <td>鋼D 450PS型</td> </tr> <tr> <td>12連装</td> <td>長さ m 12本</td> <td>鋼D 800PS型</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 砂が安定して供給されない場合は、砂貯蔵船を計上することができる。 2. 引船は、現場条件により計上することができる。 3. 現場条件により、ガットバージ、砂貯蔵船、引船の規格を変更することができる。 4. ケーシングパイプの規格は、ケーシングパイプの長さにより決定する。 5. 作業船の退避が頻繁に生じ揚錨船の補助が必要な場合、または航行船舶に支障のない区域に作業船を一時退避する必要がある場合は、引船を別途計上する。</p> <p>2) ケーシングパイプの規格選定 地盤改良先端深度により、下記を標準として選定する。</p>  <p>$L_1 = L_2 + L_3$ L₁ : 必要長 (m) L₂ : H.W.L. から地盤改良先端深度までの長さ (m) L₃ : 余裕長 (5m)</p> <p>ケーシングパイプの規格選定</p> <table border="1" data-bbox="543 1696 1181 1833"> <thead> <tr> <th>適応規格</th> <th>H.W.L. から地盤改良先端深度までの長さ (L₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30 m</td> <td>25 m以下</td> </tr> <tr> <td>40 "</td> <td>25 mを超え 35 "</td> </tr> <tr> <td>45 "</td> <td>35 " 40 "</td> </tr> </tbody> </table>	標準的な船団構成			現場条件による追加船団			サンドドレーン船	ガットバージ	揚錨船	ケーシングパイプ	砂貯蔵船	引船	6連装	鋼D1,000m ³ 積	鋼D 25t吊	長さ m 6本	鋼 1,000m ³ 積	鋼D 450PS型	12連装	長さ m 12本	鋼D 800PS型	適応規格	H.W.L. から地盤改良先端深度までの長さ (L ₂)	30 m	25 m以下	40 "	25 mを超え 35 "	45 "	35 " 40 "		削除
標準的な船団構成			現場条件による追加船団																													
サンドドレーン船	ガットバージ	揚錨船	ケーシングパイプ	砂貯蔵船	引船																											
6連装	鋼D1,000m ³ 積	鋼D 25t吊	長さ m 6本	鋼 1,000m ³ 積	鋼D 450PS型																											
12連装			長さ m 12本		鋼D 800PS型																											
適応規格	H.W.L. から地盤改良先端深度までの長さ (L ₂)																															
30 m	25 m以下																															
40 "	25 mを超え 35 "																															
45 "	35 " 40 "																															

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																										
2節 海上地盤改良工 P3-2-(3)	<p>1-5 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力</p> <p>(1) 能力算定式</p> $Q = \frac{N \times Li \times (1.00 + E_1 + E_2 + E_3 + E_4) \times T}{L} \quad \text{(小数2位四捨五入)}$ <p> Q : 1日当り砂杭造成本数(本/日) N : 同時造成本数(最大は連装数) Li : 1時間当り標準造成延長(38m/h) E_1 : 造成杭長能力補正係数 E_2 : 改良面積能力補正係数 E_3 : 海象条件区分能力補正係数 E_4 : 障害区分能力補正係数 L : 1本当り造成杭長(m) T : サンドドレーン船の1日当り運転時間(8h/日) </p> <p>(2) 能力係数等</p> <table border="1" data-bbox="409 709 1323 1171"> <thead> <tr> <th>係数区分</th> <th>補正係数</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">E₁ 造成杭長(L)</td> <td>10m未満</td> <td>-0.20</td> <td rowspan="5">小数3位四捨五入</td> </tr> <tr> <td>10m~20 "</td> <td>-0.02×(20-L)</td> </tr> <tr> <td>20m~25 "</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>25m~30 "</td> <td>-0.01×(L-25)</td> </tr> <tr> <td>30m以上</td> <td>-0.05</td> </tr> <tr> <td>E₂ 改良面積(A)</td> <td>$0.01 \times \frac{A}{10,000}$</td> <td>小数3位四捨五入 改良面積が、50,000m²以上の場合は、A=50,000m²とする</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">E₃ 海象条件区分</td> <td>普通</td> <td>0.00</td> <td rowspan="2">係数区分の補足表参照</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>-0.05</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">E₄ 障害区分</td> <td>障害なし</td> <td>0.00</td> <td rowspan="2">係数区分の補足表参照</td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td>-0.05</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="468 1224 967 1528" style="text-align: center;"> <p>敷砂部</p> <p>サンドドレーン 造成杭長(L)</p> </div> <p>係数区分の補足表</p> <table border="1" data-bbox="409 1577 1323 1885"> <thead> <tr> <th>係数区分</th> <th>係数区分の適用明細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">E₃ 海象条件区分</td> <td>普通</td> <td>自然の地形や防波堤等で遮蔽されており、港外波浪または内海の影響を受けない工事で、潮流、潮位差が特に大きくない工事。</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>自然の地形や防波堤等による遮蔽効果が期待できず、港外波浪または内海の影響を受ける工事。または、潮流、潮位差が特に大きい工事。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">E₄ 障害区分</td> <td>障害なし</td> <td>構造物等による障害のため、作業が中断したり作業船の移動に制約を受けることがない。また、現場の広さにより作業船の移動に支障を来すことがない。</td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td>構造物等による障害のため、作業が中断したり作業船の移動に制約を受ける。また、現場の広さにより作業船の移動に支障を来す。</td> </tr> </tbody> </table>	係数区分	補正係数	摘要	E ₁ 造成杭長(L)	10m未満	-0.20	小数3位四捨五入	10m~20 "	-0.02×(20-L)	20m~25 "	0.00	25m~30 "	-0.01×(L-25)	30m以上	-0.05	E ₂ 改良面積(A)	$0.01 \times \frac{A}{10,000}$	小数3位四捨五入 改良面積が、50,000m ² 以上の場合は、A=50,000m ² とする	E ₃ 海象条件区分	普通	0.00	係数区分の補足表参照	悪い	-0.05	E ₄ 障害区分	障害なし	0.00	係数区分の補足表参照	障害あり	-0.05	係数区分	係数区分の適用明細	E ₃ 海象条件区分	普通	自然の地形や防波堤等で遮蔽されており、港外波浪または内海の影響を受けない工事で、潮流、潮位差が特に大きくない工事。	悪い	自然の地形や防波堤等による遮蔽効果が期待できず、港外波浪または内海の影響を受ける工事。または、潮流、潮位差が特に大きい工事。	E ₄ 障害区分	障害なし	構造物等による障害のため、作業が中断したり作業船の移動に制約を受けることがない。また、現場の広さにより作業船の移動に支障を来すことがない。	障害あり	構造物等による障害のため、作業が中断したり作業船の移動に制約を受ける。また、現場の広さにより作業船の移動に支障を来す。		削除
係数区分	補正係数	摘要																																											
E ₁ 造成杭長(L)	10m未満	-0.20	小数3位四捨五入																																										
	10m~20 "	-0.02×(20-L)																																											
	20m~25 "	0.00																																											
	25m~30 "	-0.01×(L-25)																																											
	30m以上	-0.05																																											
E ₂ 改良面積(A)	$0.01 \times \frac{A}{10,000}$	小数3位四捨五入 改良面積が、50,000m ² 以上の場合は、A=50,000m ² とする																																											
E ₃ 海象条件区分	普通	0.00	係数区分の補足表参照																																										
	悪い	-0.05																																											
E ₄ 障害区分	障害なし	0.00	係数区分の補足表参照																																										
	障害あり	-0.05																																											
係数区分	係数区分の適用明細																																												
E ₃ 海象条件区分	普通	自然の地形や防波堤等で遮蔽されており、港外波浪または内海の影響を受けない工事で、潮流、潮位差が特に大きくない工事。																																											
	悪い	自然の地形や防波堤等による遮蔽効果が期待できず、港外波浪または内海の影響を受ける工事。または、潮流、潮位差が特に大きい工事。																																											
E ₄ 障害区分	障害なし	構造物等による障害のため、作業が中断したり作業船の移動に制約を受けることがない。また、現場の広さにより作業船の移動に支障を来すことがない。																																											
	障害あり	構造物等による障害のため、作業が中断したり作業船の移動に制約を受ける。また、現場の広さにより作業船の移動に支障を来す。																																											

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																																
2節 海上地盤改良工 P3-2-(4)	<p>(3) 拘束費 サンドドレーン船については、工事着手前にキャリブレーション等の試験が必要であり、サンドドレーン船、ガットバージ、揚錨船等の拘束費（供用損料、労務費）を計上する。 ただし、一工事でサンドドレーン船を複数隻使用する場合は、着手前については、全隻数を計上する。</p> <p style="text-align: center;">サンドドレーン船の拘束費計上日数</p> <table border="1" data-bbox="412 411 1279 520"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>拘束費計上日数</th> <th>対象作業内容</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着手前</td> <td>1.0日</td> <td>キャリブレーション</td> <td>複数隻の場合は全隻数</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>必要な日数</td> <td></td> <td>対象となる隻数</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 代価表 (1) 砂杭打込 1日（本）当り</p> <table border="1" data-bbox="412 594 1279 1066"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">連装数</th> </tr> <tr> <th>6</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>サンドドレーン船 運転</td> <td>連装</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td>運8H/就10H</td> </tr> <tr> <td>ガットバージ //</td> <td>鋼D1,000m³積</td> <td>//</td> <td>1</td> <td></td> <td>就業10H</td> </tr> <tr> <td>揚錨船 //</td> <td>鋼D 25t吊</td> <td>//</td> <td>1</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>砂貯蔵船 //</td> <td>鋼 1,000m³積</td> <td>//</td> <td></td> <td></td> <td>就業10H</td> </tr> <tr> <td>引船 //</td> <td>鋼D PS型</td> <td>//</td> <td></td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>ケーシングパイプ 損料</td> <td>長さ m</td> <td>本</td> <td>6</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>G.N.S.S測位装置 //</td> <td></td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>3</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 砂が安定して供給されない場合は、砂貯蔵船を計上することができる。 2. 引船は、現場条件により計上することができる。 3. ケーシングパイプ損料＝供用日当り損料×供用係数（α） 4. G.N.S.S測位装置損料＝供用日当り損料×供用係数（α） 5. 特殊作業員単価は、就業10時間であるので時間外割増賃金を加算した額とする。 6. 現場条件により、ガットバージ、砂貯蔵船、引船の規格を変更できる。 7. 作業船の退避が頻繁に生じ揚錨船の補助が必要な場合、または航行船舶に支障のない区域に作業船を一時退避する必要がある場合は、引船を別途計上する。 また、退避が発生する場合は、現場条件によりサンドドレーン船の運転時間を補正する。 （0.1未満を切り捨て、0.1以上0.6未満を0.5時間、0.6以上を1時間として0.5時間単位にする。） 8. 1日当り扱い砂量は、次式により算出する。</p> $V = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times \left(1 + \frac{W}{100}\right) \times Q \quad \text{（小数3位四捨五入）}$ <p>V：1日当り扱い砂量（m³/日） π：円周率（3.14） D：砂杭径（m） L：造成杭長（m） W：割増率（%） Q：1日当り砂杭造成本数（本/日）</p> <p>(2) サンドドレーン船拘束 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="412 1633 1279 1854"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サンドドレーン船 供用</td> <td>連装</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガットバージ //</td> <td>鋼D1,000m³積</td> <td>//</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>揚錨船 //</td> <td>鋼D 25t吊</td> <td>//</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーシングパイプ 損料</td> <td>長さ m</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>G.N.S.S測位装置 //</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 拘束日数は、キャリブレーションおよび現場条件に応じて必要な日数を計上する。</p>	区分	拘束費計上日数	対象作業内容	摘要	着手前	1.0日	キャリブレーション	複数隻の場合は全隻数	その他	必要な日数		対象となる隻数	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	連装数		6	12	砂		m ³			割増しを含む	サンドドレーン船 運転	連装	日	1		運8H/就10H	ガットバージ //	鋼D1,000m ³ 積	//	1		就業10H	揚錨船 //	鋼D 25t吊	//	1		就業8H	砂貯蔵船 //	鋼 1,000m ³ 積	//			就業10H	引船 //	鋼D PS型	//			運2H/就8H	ケーシングパイプ 損料	長さ m	本	6	12		G.N.S.S測位装置 //		日	1			特殊作業員		人	3	4		雑材料						名称	形状寸法	単位	数量	摘要	サンドドレーン船 供用	連装	日			ガットバージ //	鋼D1,000m ³ 積	//			揚錨船 //	鋼D 25t吊	//			ケーシングパイプ 損料	長さ m	本			G.N.S.S測位装置 //		日				削除
区分	拘束費計上日数	対象作業内容	摘要																																																																																																																
着手前	1.0日	キャリブレーション	複数隻の場合は全隻数																																																																																																																
その他	必要な日数		対象となる隻数																																																																																																																
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																														
			連装数																																																																																																																
			6	12																																																																																																															
砂		m ³			割増しを含む																																																																																																														
サンドドレーン船 運転	連装	日	1		運8H/就10H																																																																																																														
ガットバージ //	鋼D1,000m ³ 積	//	1		就業10H																																																																																																														
揚錨船 //	鋼D 25t吊	//	1		就業8H																																																																																																														
砂貯蔵船 //	鋼 1,000m ³ 積	//			就業10H																																																																																																														
引船 //	鋼D PS型	//			運2H/就8H																																																																																																														
ケーシングパイプ 損料	長さ m	本	6	12																																																																																																															
G.N.S.S測位装置 //		日	1																																																																																																																
特殊作業員		人	3	4																																																																																																															
雑材料																																																																																																																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																															
サンドドレーン船 供用	連装	日																																																																																																																	
ガットバージ //	鋼D1,000m ³ 積	//																																																																																																																	
揚錨船 //	鋼D 25t吊	//																																																																																																																	
ケーシングパイプ 損料	長さ m	本																																																																																																																	
G.N.S.S測位装置 //		日																																																																																																																	

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本体外工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-19	<p>2-5-2 代価表作成手順</p> <p>・施工場所 → 【第4章 市場単価】 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算</p>	<p>2-5-2 代価表作成手順</p> <p>・施工場所 → 【第4章 市場単価等】 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算</p>	記載の追記
4節 本体外工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-20	<p>2-6-2 代価表作成手順 [アスファルトマット(工場製作)の積算]</p> <p>・ケーソン製作方式 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算</p> <p>↓ 【第4章 市場単価】 2-6-3</p> <p>・クレーンの機種・規格 「2-3-2」 → 1日当り設置枚数 の算定 → ②1日当り設置枚数</p> <p>[ゴム系マット(再生)の積算] ・ケーソン製作方式 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算</p> <p>↓ 【第4章 市場単価】 2-6-3</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・ゴム系マット(再生) 設置 1函当り代価表</p>	<p>2-6-2 代価表作成手順 [アスファルトマット(工場製作)の積算]</p> <p>・ケーソン製作方式 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算</p> <p>↓ 【第4章 市場単価等】 2-6-3</p> <p>・クレーンの機種・規格 「2-3-2」 → 1日当り設置枚数 の算定 → ②1日当り設置枚数</p> <p>[ゴム系マット(再生)の積算] ・ケーソン製作方式 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算</p> <p>↓ 【第4章 市場単価等】 2-6-3</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・ゴム系マット(再生) 設置 1函当り代価表</p>	記載の追記
4節 本体外工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-22	<p>2-7-2 代価表作成手順</p> <p>・ケーソン形状 ・工法 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、 別途積算</p> <p>↓ 【第4章 市場単価】 2-7-3</p> <p>・現場条件 → 潜水士船計上の検討 → ①潜水士船の有無、日数</p>	<p>2-7-2 代価表作成手順</p> <p>・ケーソン形状 ・工法 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、 別途積算</p> <p>↓ 【第4章 市場単価等】 2-7-3</p> <p>・現場条件 → 潜水士船計上の検討 → ①潜水士船の有無、日数</p>	記載の追記
4節 本体外工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-23	<p>2-8-2-1 代価表作成手順</p> <p>・ケーソン形状 ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、 別途積算</p> <p>↓ 【第4章 市場単価】</p> <p>・足場施工規模 ・ケーソン種類 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 ②スリットケーソン補正係数</p>	<p>2-8-2-1 代価表作成手順</p> <p>・ケーソン形状 ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、 別途積算</p> <p>↓ 【第4章 市場単価等】</p> <p>・足場施工規模 ・ケーソン種類 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 ②スリットケーソン補正係数</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本体外工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-23	2-8-2-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定 「第4章 <u>市場単価</u> 」による。	2-8-2-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定 「第4章 <u>市場単価等</u> 」による。	記載の追記
4節 本体外工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-24	2-8-3-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定 「第4章 <u>市場単価</u> 」による。	2-8-3-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定 「第4章 <u>市場単価等</u> 」による。	記載の追記
4節 本体外工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-25	2-9-2-1 代価表作成手順 ・ケーソン形状 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算 ・施工場所 ↓ 【第4章 <u>市場単価</u> 】 ・鉄筋加工組立施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数	2-9-2-1 代価表作成手順 ・ケーソン形状 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算 ・施工場所 ↓ 【第4章 <u>市場単価等</u> 】 ・鉄筋加工組立施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数	記載の追記
4節 本体外工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-26	2-9-2-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定 「第4章 <u>市場単価</u> 」による。	2-9-2-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定 「第4章 <u>市場単価等</u> 」による。	記載の追記
4節 本体外工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-27	2-9-3-1 代価表作成手順 [吊鉄筋現場組立の積算] 吊鉄筋の種類 → ・吊鉄筋（80mm未満） ・吊バー（80mm未満） ↓ ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算 ↓ 【第4章 <u>市場単価</u> 】 ・クレーンの機種・規格「2-3-2」 → 主クレーンの機種の選定 → ・陸上クレーン ・貸与クレーン ・海上クレーン ・貸与クレーンの有無 [吊鉄筋・吊バー組立の積算] 【第4章 <u>市場単価</u> 】 ・標準市場単価（クレーン抜き）クレーンの機種・規格「2-3-2」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → ・吊鉄筋・吊バー組立1,000kg当り代価表	2-9-3-1 代価表作成手順 [吊鉄筋現場組立の積算] 吊鉄筋の種類 → ・吊鉄筋（80mm未満） ・吊バー（80mm未満） ↓ ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算 ↓ 【第4章 <u>市場単価等</u> 】 ・クレーンの機種・規格「2-3-2」 → 主クレーンの機種の選定 → ・陸上クレーン ・貸与クレーン ・海上クレーン ・貸与クレーンの有無 [吊鉄筋・吊バー組立の積算] 【第4章 <u>市場単価等</u> 】 ・標準市場単価（クレーン抜き）クレーンの機種・規格「2-3-2」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → ・吊鉄筋・吊バー組立1,000kg当り代価表	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本體工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-29	<p>2-10-2 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーソン形状 ・施工場所 <p>→ 市場単価適用の検討 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場単価適用条件以外は、別途積算 ・全面張方式の場合、「本節 参考資料-1」による <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・型枠施工規模 ・ケーソン種類 <p>→ 補正係数の選定 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施工規模補正係数 ②スリットケーソン補正係数 <p>2-10-3 施工歩掛</p> <p>1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p>	<p>2-10-2 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーソン形状 ・施工場所 <p>→ 市場単価適用の検討 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場単価適用条件以外は、別途積算 ・全面張方式の場合、「本節 参考資料-1」による <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・型枠施工規模 ・ケーソン種類 <p>→ 補正係数の選定 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施工規模補正係数 ②スリットケーソン補正係数 <p>2-10-3 施工歩掛</p> <p>1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記
4節 本體工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-30	<p>2-11-2 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーソン形状 ・施工場所 <p>→ 市場単価適用の検討 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場単価適用条件以外は、別途積算 <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>2-11-3 施工歩掛</p> <p>1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p>	<p>2-11-2 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーソン形状 ・施工場所 <p>→ 市場単価適用の検討 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場単価適用条件以外は、別途積算 <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>2-11-3 施工歩掛</p> <p>1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本体外 4.1 ケーソン式 P3-4.1-34	3-4-2 代価表作成手順 ・ケーソン形状 ・工法 → 【第4章 <u>市場単価</u>】 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算	3-4-2 代価表作成手順 ・ケーソン形状 ・工法 → 【第4章 <u>市場単価等</u>】 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算	記載の追記
4節 本体外 4.1 ケーソン式 P3-4.1-35	3-5-2 代価表作成手順 ・ケーソン形状 ・工法 → 【第4章 <u>市場単価</u>】 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算	3-5-2 代価表作成手順 ・ケーソン形状 ・工法 → 【第4章 <u>市場単価等</u>】 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本体外工 4.2 ブロック式 目次	4節 本体外工 4.2 ブロック式 1. 総則 1-1 適用範囲 ----- 3-4.2-1 1-2 積算ツリ ----- 3-4.2-1 1-3 積算フロー ----- 3-4.2-2 1-4 標準的な積算手順 ----- 3-4.2-3 1-5 数量計算等 ----- 1-5-1 集計数値 ----- 3-4.2-3 1-5-2 材料割増率 ----- 3-4.2-4 1-5-3 数量の算出 ----- 3-4.2-4 1-5-4 数量計算の非控除 ----- 3-4.2-4 1-5-5 型枠材料区分 ----- 3-4.2-4 2. 本体ブロック製作工 2-1 適用範囲 ----- 3-4.2-5 2-2 施工フロー ----- 3-4.2-5 2-3 クレーン規格の選定 ----- 2-3-1 機種・規格選定手順 ----- 3-4.2-6 2-3-2 機種・規格の選定 ----- 3-4.2-6 2-4 底面 ----- 2-4-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-6 2-4-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-6 2-5 足場 ----- 2-5-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-7 2-5-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-7 2-6 鉄筋 ----- 2-6-1 鉄筋加工組立 ----- 2-6-1-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-8 2-6-1-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-8 2-6-2 吊鉄筋組立 ----- 2-6-2-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-9 2-6-2-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-9 2-7 型枠 ----- 2-7-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-10 2-7-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-10 2-8 コンクリート ----- 2-8-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-10 2-8-2 施工方法の選定 ----- 3-4.2-11 2-8-3 施工歩掛 ----- 3-4.2-11 3. 本体ブロック据付工 3-1 本体ブロック据付 ----- 3-1-1 適用範囲 ----- 3-4.2-12 3-1-2 施工方法 ----- 3-1-2-1 施工方式と適用範囲 ----- 3-4.2-12 3-1-2-2 施工方式の概念図 ----- 3-4.2-13 3-1-3 施工フロー ----- 3-4.2-14 3-1-4 作業船・機械の組合せ ----- 3-1-4-1 陸上作業 ----- 3-4.2-15 3-1-4-2 海上作業 ----- 3-4.2-15 3-1-5 水中と陸上の工事区分 ----- 3-4.2-15 3-1-6 ブロック転置 ----- 3-1-6-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-16 3-1-6-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-16 3-1-7 ブロック据付 ----- 3-1-7-1 ブロック据付（1スイング） ----- 3-1-7-1-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-18 3-1-7-1-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-18 3-1-7-2 ブロック横持ち ----- 3-1-7-2-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-19 3-1-7-2-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-19 3-1-7-3 ブロック運搬据付（陸上連携方式） ----- 3-1-7-3-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-20 3-1-7-3-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-21 3-1-7-4 ブロック運搬据付（海上一連方式） ----- 3-1-7-4-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-22 3-1-7-4-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-23	4節 本体外工 4.2 ブロック式 1. 総則 1-1 適用範囲 ----- 3-4.2-1 1-2 積算ツリ ----- 3-4.2-1 1-3 積算フロー ----- 3-4.2-2 1-4 標準的な積算手順 ----- 3-4.2-3 1-5 数量計算等 ----- 1-5-1 集計数値 ----- 3-4.2-3 1-5-2 材料割増率 ----- 3-4.2-4 1-5-3 数量の算出 ----- 3-4.2-4 1-5-4 数量計算の非控除 ----- 3-4.2-4 1-5-5 型枠材料区分 ----- 3-4.2-4 2. 本体ブロック製作工 2-1 適用範囲 ----- 3-4.2-5 2-2 施工フロー ----- 3-4.2-5 2-3 クレーン規格の選定 ----- 2-3-1 機種・規格選定手順 ----- 3-4.2-6 2-3-2 機種・規格の選定 ----- 3-4.2-6 2-4 底面 ----- 2-4-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-6 2-4-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-6 2-5 足場 ----- 2-5-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-7 2-5-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-7 2-6 鉄筋 ----- 2-6-1 鉄筋加工組立 ----- 2-6-1-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-8 2-6-1-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-8 2-6-2 吊鉄筋組立 ----- 2-6-2-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-9 2-6-2-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-9 2-7 型枠 ----- 2-7-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-10 2-7-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-10 2-8 コンクリート ----- 2-8-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-10 2-8-2 施工方法の選定 ----- 3-4.2-11 2-8-3 施工歩掛 ----- 3-4.2-11 3. 本体ブロック据付工 3-1 本体ブロック据付 ----- 3-1-1 適用範囲 ----- 3-4.2-12 3-1-2 施工方法 ----- 3-1-2-1 施工方式と適用範囲 ----- 3-4.2-12 3-1-2-2 施工方式の概念図 ----- 3-4.2-13 3-1-3 施工フロー ----- 3-4.2-14 3-1-4 作業船・機械の組合せ ----- 3-1-4-1 陸上作業 ----- 3-4.2-15 3-1-4-2 海上作業 ----- 3-4.2-15 3-1-5 水中と陸上の工事区分 ----- 3-4.2-15 3-1-6 ブロック転置 ----- 3-1-6-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-16 3-1-6-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-16 3-1-7 ブロック据付 ----- 3-1-7-1 ブロック据付（1スイング） ----- 3-1-7-1-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-18 3-1-7-1-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-18 3-1-7-2 ブロック横持ち ----- 3-1-7-2-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-20 3-1-7-2-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-20 3-1-7-3 ブロック運搬据付（陸上連携方式） ----- 3-1-7-3-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-21 3-1-7-3-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-21 3-1-7-4 ブロック運搬据付（海上一連方式） ----- 3-1-7-4-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-23 3-1-7-4-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-23	ページ番号の修正 文言追加にともなう 修正

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲 載 頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
	<p>3-1-7-5 ブロック運搬据付(陸海一貫方式)</p> <p>3-1-7-5-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-24</p> <p>3-1-7-5-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-25</p> <p>4. 中詰工 ----- 3-4.2-28</p> <p>5. 蓋コンクリート工 ----- 3-4.2-28</p> <p>6. 蓋ブロック工</p> <p>6-1 蓋ブロック製作 ----- 3-4.2-28</p> <p>6-2 蓋ブロック据付 ----- 3-4.2-28</p> <p>6-3 間詰コンクリート ----- 3-4.2-28</p>	<p>3-1-7-5 ブロック運搬据付(陸海一貫方式)</p> <p>3-1-7-5-1 代価表作成手順 ----- 3-4.2-26</p> <p>3-1-7-5-2 施工歩掛 ----- 3-4.2-27</p> <p>4. 中詰工 ----- 3-4.2-29</p> <p>5. 蓋コンクリート工 ----- 3-4.2-29</p> <p>6. 蓋ブロック工</p> <p>6-1 蓋ブロック製作 ----- 3-4.2-29</p> <p>6-2 蓋ブロック据付 ----- 3-4.2-29</p> <p>6-3 間詰コンクリート ----- 3-4.2-29</p>	

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本体内工 4.2 ブロック式 P3-4.2-6	<p>2-4-1 代価表作成手順</p> <p>・ 施工場所 → 【第4章 市場単価】 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・ 市場単価適用条件以外は 別途積算</p>	<p>2-4-1 代価表作成手順</p> <p>・ 施工場所 → 【第4章 市場単価等】 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・ 市場単価適用条件以外は 別途積算</p>	記載の追記
4節 本体内工 4.2 ブロック式 P3-4.2-7	<p>2-5-1 代価表作成手順</p> <p>・ 製作構造物の高さ → 足場積算計上の決定 → ・ 2m以上の場合に計上</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>【第4章 市場単価】 2-5-2</p> <p>[枠組足場架払の積算] ・ クレーンの種類・規格 「2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	<p>2-5-1 代価表作成手順</p> <p>・ 製作構造物の高さ → 足場積算計上の決定 → ・ 2m以上の場合に計上</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>【第4章 市場単価等】 2-5-2</p> <p>[枠組足場架払の積算] ・ クレーンの種類・規格 「2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	記載の追記
4節 本体内工 4.2 ブロック式 P3-4.2-8	<p>2-6-1-1 代価表作成手順</p> <p>・ 鉄筋径 → 加工方法の選定 → ・ 38mm以上は別途算定</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・ クレーンの種類・規格 「2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	<p>2-6-1-1 代価表作成手順</p> <p>・ 鉄筋径 → 加工方法の選定 → ・ 38mm以上は別途算定</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>【第4章 市場単価等】</p> <p>・ クレーンの種類・規格 「2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	記載の追記
4節 本体内工 4.2 ブロック式 P3-4.2-9	<p>2-6-2-1 代価表作成手順 [吊鉄筋現場組立の積算]</p> <p>吊鉄筋の種類 → ・ 吊鉄筋(80mm未満) ・ 吊バー(80mm未満)</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・ クレーンの種類・規格 「2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	<p>2-6-2-1 代価表作成手順 [吊鉄筋現場組立の積算]</p> <p>吊鉄筋の種類 → ・ 吊鉄筋(80mm未満) ・ 吊バー(80mm未満)</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>【第4章 市場単価等】</p> <p>・ クレーンの種類・規格 「2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	記載の追記
4節 本体内工 4.2 ブロック式 P3-4.2-10	<p>2-7-1 代価表作成手順</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・ クレーンの種類・規格 「2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	<p>2-7-1 代価表作成手順</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>【第4章 市場単価等】</p> <p>・ クレーンの種類・規格 「2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本土工 4.2 ブロック式 P3-4.2-10	<p>2-8-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 2-8-2 ・現場条件 → コンクリート打設方法の検討 → 打設方法 〔ポンプ車打設 クレーン打設 ミキサー車打設〕 ↓ 【第4章 <u>市場単価</u>】 2-8-3 [ポンプ車打設の積算] ・コンクリート計画打設量 → 補正係数の検討 → ①施工規模補正係数 	<p>2-8-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 2-8-2 ・現場条件 → コンクリート打設方法の検討 → 打設方法 〔ポンプ車打設 クレーン打設 ミキサー車打設〕 ↓ 【第4章 <u>市場単価等</u>】 2-8-3 [ポンプ車打設の積算] ・コンクリート計画打設量 → 補正係数の検討 → ①施工規模補正係数 	記載の追記
4節 本土工 4.2 ブロック式 P3-4.2-11	<p>2-8-3 施工歩掛</p> <p>1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p>	<p>2-8-3 施工歩掛</p> <p>1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																				
4節 本土工 4.2 ブロック式 P3-4.2-17	3) 代価表 (1) ブロック転置 1日 (個) 当り <table border="1" data-bbox="409 327 1255 827"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 "</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	-	1	運6H/就8H	引船 "	鋼D PS型	"	-	1	運2H/就8H	潜水士船 "	D270PS型 3~5t吊	"			就業8H	とび工		人				普通作業員		"				雑材料						3) 代価表 (1) ブロック転置 1日 (個) 当り <table border="1" data-bbox="1596 327 2442 827"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 "</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1561 835 2475 953"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式(交互)を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難い場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式(交互)とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	-	1	運6H/就8H	引船 "	鋼D PS型	"	-	1	運2H/就8H	潜水士船 "	D270PS型 3~5t吊	"			就業8H	とび工		人				普通作業員		"				雑材料						記載の追記
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																															
		陸上	海上																																																																																																				
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	-	1	運6H/就8H																																																																																																		
引船 "	鋼D PS型	"	-	1	運2H/就8H																																																																																																		
潜水士船 "	D270PS型 3~5t吊	"			就業8H																																																																																																		
とび工		人																																																																																																					
普通作業員		"																																																																																																					
雑材料																																																																																																							
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																		
			陸上	海上																																																																																																			
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	-	1	運6H/就8H																																																																																																		
引船 "	鋼D PS型	"	-	1	運2H/就8H																																																																																																		
潜水士船 "	D270PS型 3~5t吊	"			就業8H																																																																																																		
とび工		人																																																																																																					
普通作業員		"																																																																																																					
雑材料																																																																																																							
4節 本土工 4.2 ブロック式 P3-4.2-19	3) 代価表 (1) ブロック据付 (1スイング) 1日 (個) 当り <table border="1" data-bbox="409 1073 1255 1572"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 "</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	-	1	運6H/就8H	引船 "	鋼D PS型	"	-	1	運2H/就8H	潜水士船 "	D270PS型 3~5t吊	"			就業8H	とび工		人				普通作業員		"				雑材料						3) 代価表 (1) ブロック据付 (1スイング) 1日 (個) 当り <table border="1" data-bbox="1596 1073 2442 1572"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 "</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1584 1581 2499 1698"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式(交互)を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難い場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式(交互)とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	-	1	運6H/就8H	引船 "	鋼D PS型	"	-	1	運2H/就8H	潜水士船 "	D270PS型 3~5t吊	"			就業8H	とび工		人				普通作業員		"				雑材料						記載の追記
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																															
		陸上	海上																																																																																																				
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	-	1	運6H/就8H																																																																																																		
引船 "	鋼D PS型	"	-	1	運2H/就8H																																																																																																		
潜水士船 "	D270PS型 3~5t吊	"			就業8H																																																																																																		
とび工		人																																																																																																					
普通作業員		"																																																																																																					
雑材料																																																																																																							
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																		
			陸上	海上																																																																																																			
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	-	1	運6H/就8H																																																																																																		
引船 "	鋼D PS型	"	-	1	運2H/就8H																																																																																																		
潜水士船 "	D270PS型 3~5t吊	"			就業8H																																																																																																		
とび工		人																																																																																																					
普通作業員		"																																																																																																					
雑材料																																																																																																							

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																
4節 本土工 4.2 ブロック式 P3-4.2-22	3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸上連携方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="424 327 1222 829"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>据付・仮置用 標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>積込用 標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>トラック または トラクタ</td> <td>t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 運転</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	据付・仮置用 標準運転時間	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	〃	1	積込用 標準運転時間	トラック または トラクタ	t積	〃		標準運転時間	潜水士船 運転	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	とび工		人			普通作業員		〃			雑材料					3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸上連携方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="1596 327 2395 829"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>据付・仮置用 標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>積込用 標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>トラック または トラクタ</td> <td>t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 運転</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1561 840 2475 955"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式(交互)を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難しい場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式(交互)とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	据付・仮置用 標準運転時間	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	〃	1	積込用 標準運転時間	トラック または トラクタ	t積	〃		標準運転時間	潜水士船 運転	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	とび工		人			普通作業員		〃			雑材料					記載の追記
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																															
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	据付・仮置用 標準運転時間																																																																															
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	〃	1	積込用 標準運転時間																																																																															
トラック または トラクタ	t積	〃		標準運転時間																																																																															
潜水士船 運転	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																															
とび工		人																																																																																	
普通作業員		〃																																																																																	
雑材料																																																																																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																															
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	据付・仮置用 標準運転時間																																																																															
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	〃	1	積込用 標準運転時間																																																																															
トラック または トラクタ	t積	〃		標準運転時間																																																																															
潜水士船 運転	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																															
とび工		人																																																																																	
普通作業員		〃																																																																																	
雑材料																																																																																			
4節 本土工 4.2 ブロック式 P3-4.2-24	3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(海上一連方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="388 1075 1267 1482"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>運:作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 〃</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 鋼D t吊	日	1	運:作業能力/就8H	引船 〃	鋼D PS型	〃	1	〃	潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	とび工		人			普通作業員		〃			雑材料					3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(海上一連方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="1576 1075 2454 1482"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>運:作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 〃</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1546 1493 2463 1608"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式(交互)を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難しい場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式(交互)とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 鋼D t吊	日	1	運:作業能力/就8H	引船 〃	鋼D PS型	〃	1	〃	潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	とび工		人			普通作業員		〃			雑材料					記載の追記										
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																															
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 鋼D t吊	日	1	運:作業能力/就8H																																																																															
引船 〃	鋼D PS型	〃	1	〃																																																																															
潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																															
とび工		人																																																																																	
普通作業員		〃																																																																																	
雑材料																																																																																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																															
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 鋼D t吊	日	1	運:作業能力/就8H																																																																															
引船 〃	鋼D PS型	〃	1	〃																																																																															
潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																															
とび工		人																																																																																	
普通作業員		〃																																																																																	
雑材料																																																																																			

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																										
4節 本工 4.2 ブロック式 P3-4.2-27	3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="409 327 1320 919"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>トラック または トラレーラ</td> <td>t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>運:作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間	トラック または トラレーラ	t積	〃		〃	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	〃	1	運:作業能力/就8H	引船	鋼D PS型	〃	1	〃	潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	とび工		人			普通作業員		〃			雑材料					3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="1596 327 2507 919"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>トラック または トラレーラ</td> <td>t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>運:作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1573 930 2487 1050"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式(交互)を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難しい場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式(交互)とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間	トラック または トラレーラ	t積	〃		〃	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	〃	1	運:作業能力/就8H	引船	鋼D PS型	〃	1	〃	潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	とび工		人			普通作業員		〃			雑材料					記載の追記
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																									
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間																																																																																									
トラック または トラレーラ	t積	〃		〃																																																																																									
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	〃	1	運:作業能力/就8H																																																																																									
引船	鋼D PS型	〃	1	〃																																																																																									
潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																																									
とび工		人																																																																																											
普通作業員		〃																																																																																											
雑材料																																																																																													
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																									
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間																																																																																									
トラック または トラレーラ	t積	〃		〃																																																																																									
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	〃	1	運:作業能力/就8H																																																																																									
引船	鋼D PS型	〃	1	〃																																																																																									
潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																																									
とび工		人																																																																																											
普通作業員		〃																																																																																											
雑材料																																																																																													

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																												
4節 本工 4.2 ブロック式 参考資料 P3-4.2-(2)	3) 代価表 (1) 大型ブロック運搬据付・仮置(海上一連方式) 1日()個当り <table border="1" data-bbox="409 327 1270 783"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>旋回式</th> <th>固定式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">起重機船運転</td> <td>非航旋回 艀D t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td rowspan="2">運：作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>非航固定 艀D(DE) t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>台船</td> <td>鋼 t積</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td colspan="2">1</td> <td>運：作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td colspan="2"></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	旋回式	固定式	起重機船運転	非航旋回 艀D t吊	日	1	-	運：作業能力/就8H	非航固定 艀D(DE) t吊	〃	-	1	台船	鋼 t積	〃	-	1	就業8H	引船	鋼D PS型	〃	1		運：作業能力/就8H	潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H	とび工		人				普通作業員		〃				雑材料						3) 代価表 (1) 大型ブロック運搬据付・仮置(海上一連方式) 1日()個当り <table border="1" data-bbox="1596 327 2457 783"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>旋回式</th> <th>固定式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">起重機船運転</td> <td>非航旋回 艀D t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td rowspan="2">運：作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>非航固定 艀D(DE) t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>台船</td> <td>鋼 t積</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td colspan="2">1</td> <td>運：作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td colspan="2"></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1561 793 2475 911"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式(交互)を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難い場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式(交互)とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	旋回式	固定式	起重機船運転	非航旋回 艀D t吊	日	1	-	運：作業能力/就8H	非航固定 艀D(DE) t吊	〃	-	1	台船	鋼 t積	〃	-	1	就業8H	引船	鋼D PS型	〃	1		運：作業能力/就8H	潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H	とび工		人				普通作業員		〃				雑材料						記載の追記
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																																							
		旋回式	固定式																																																																																																												
起重機船運転	非航旋回 艀D t吊	日	1	-	運：作業能力/就8H																																																																																																										
	非航固定 艀D(DE) t吊	〃	-	1																																																																																																											
台船	鋼 t積	〃	-	1	就業8H																																																																																																										
引船	鋼D PS型	〃	1		運：作業能力/就8H																																																																																																										
潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H																																																																																																										
とび工		人																																																																																																													
普通作業員		〃																																																																																																													
雑材料																																																																																																															
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																										
			旋回式	固定式																																																																																																											
起重機船運転	非航旋回 艀D t吊	日	1	-	運：作業能力/就8H																																																																																																										
	非航固定 艀D(DE) t吊	〃	-	1																																																																																																											
台船	鋼 t積	〃	-	1	就業8H																																																																																																										
引船	鋼D PS型	〃	1		運：作業能力/就8H																																																																																																										
潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H																																																																																																										
とび工		人																																																																																																													
普通作業員		〃																																																																																																													
雑材料																																																																																																															

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲 載 頁	現 行 (令 和 5 年 度)	改 定 (令 和 6 年 度)	コ メ ン ト
4節 本 体 工 4.5 鋼 矢 板 式 目 次	参 考 資 料 参 考 資 料 - 1 鋼 矢 板 打 設 (U 形 矢 板 、 組 合 せ 矢 板) ----- 3-4.5-(1) 参 考 資 料 - 2 鋼 矢 板 打 設 (デ ィ ー ゼ ル ハ ン マ) ----- 3-4.5-(7) 参 考 資 料 - 3 受 杭 打 設 (木 杭) ----- 3-4.5-(12) 補 足 資 料 補 足 資 料 - 1 本 体 工 (鋼 矢 板 式 、 鋼 杭 式 共 通) ----- 3-4.5-(14)	参 考 資 料 参 考 資 料 - 1 鋼 矢 板 打 設 (U 形 矢 板 、 組 合 せ 矢 板) ----- 3-4.5-(1) 参 考 資 料 - 2 鋼 矢 板 打 設 (デ ィ ー ゼ ル ハ ン マ) ----- 3-4.5-(6) 参 考 資 料 - 3 受 杭 打 設 (木 杭) ----- 3-4.5-(10) 補 足 資 料 補 足 資 料 - 1 本 体 工 (鋼 矢 板 式 、 鋼 杭 式 共 通) ----- 3-4.5-(12)	ページ番号の修正

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本工 4.5 鋼矢板式 P3-4.5-21	<p>2-1-6-1-1 代価表作成手順</p> <p>2-1-6-1-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場条件等 → 足場の必要性の検討 → ・必要な場合は足場架払を別途計上 <li style="text-align: center;">↓ ・鋼矢板・鋼管矢板の板厚 → 切断時間の決定 → ① 1 m 当り切断時間 <li style="text-align: center;">↓ ・施工場所 → 1日当り作業時間の選定 → ② 1日当り作業時間 <li style="text-align: center;">↓ ① 1 m 当り切断時間 ② 1日当り作業時間 → 1日当り切断長の算定 → ③ 1日当り切断長 <li style="text-align: center;">↓ <li style="text-align: center;">【第4章 <u>市場単価</u>】 ・施工規模 → 補正係数の選定 → ④ 補正係数 	<p>2-1-6-1-1 代価表作成手順</p> <p>2-1-6-1-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場条件等 → 足場の必要性の検討 → ・必要な場合は足場架払を別途計上 <li style="text-align: center;">↓ ・鋼矢板・鋼管矢板の板厚 → 切断時間の決定 → ① 1 m 当り切断時間 <li style="text-align: center;">↓ ・施工場所 → 1日当り作業時間の選定 → ② 1日当り作業時間 <li style="text-align: center;">↓ ① 1 m 当り切断時間 ② 1日当り作業時間 → 1日当り切断長の算定 → ③ 1日当り切断長 <li style="text-align: center;">↓ <li style="text-align: center;">【第4章 <u>市場単価等</u>】 ・施工規模 → 補正係数の選定 → ④ 補正係数 	記載の追記

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本土工 4.5 鋼矢板式 P3-4.5-(6)	<p>参考資料-2 鋼矢板打設（ディーゼルハンマ）</p> <p>1. 適用範囲 本項は、鋼矢板打設（鋼管矢板）及び鋼矢板打設（U形矢板、組合せ矢板）のうちディーゼルハンマによる打設に適用する。</p> <p>2. 鋼矢板打設（ディーゼルハンマ） 2-1 代価表作成手順 [鋼矢板・鋼管矢板打設の積算]</p> <p>2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所 → 施工区分の選定 → ① 施工区分（陸上、海上打設） ↓ (鋼矢板) ・ 種類、型式 ・ 鋼矢板長 ・ 2枚打ちの有無 (鋼管矢板) ・ 鋼管矢板径、肉厚 ・ 鋼管矢板長 → 鋼材諸元の選定 → (鋼矢板) ② 先端閉塞換算面積 ③ 周辺長 ④ 鋼材質量 (鋼管矢板) ④ 鋼材質量 ↓ (鋼矢板) ② 先端閉塞換算面積 ③ 周辺長 ・ 根入れ長 ・ 先端地盤のN値 ・ 周辺地盤の加重平均N値 (鋼管矢板) ・ 鋼管矢板径 ・ 根入れ長 ・ 先端地盤のN値 ・ 周辺地盤の加重平均N値 → 貫入抵抗値の算出 → ⑤ 貫入抵抗値 ↓ ・ ハンマ形式 ④ 鋼材質量 ⑤ 貫入抵抗値 → ハンマ規格の決定 → ⑥ ハンマ形式・規格 ・ 中間層を打抜く場合 → 規格を1ランク上に変更 ↓ ⑥ ハンマ形式・規格 → 作業船・機械の規格選定 → (陸上打設) ⑦ 杭打機の規格 ⑧ クロークレーンの規格 (海上打設) ⑨ 杭打船の規格 ⑩ 台船の規格 引船の有無、規格 ⑪ 潜水主船の有無 ① 施工区分 (陸上打設) ・ 鋼材種別 (海上打設) ・ 台船・引船の規格 (2-1-3-2) ・ ハンマ選択条件 ・ 作業船の移動の有無 ・ 海上打設における障害物、異常の有無 → 規格・組合せの変更 ↓ (鋼管矢板) ・ 継杭施工の有無、杭径 → 継手溶接機械の選定 → ⑫ 溶接機械の台数・規格 ↓ ・ 施工場所 → 水雷・傷害保険の検討 → ・ 必要な場合は水雷・傷害保険料を計上(共通仮設費) ↓ ① 施工区分 (鋼矢板) ・ 2枚打ちの有無 (鋼管矢板) ・ 継杭吊込み回数 → 準備時間の算定 → ⑬ 1枚・本当り準備時間 	<p>参考資料-2 鋼矢板打設（ディーゼルハンマ）</p> <p>1. 適用範囲 本項は、鋼矢板打設（鋼管矢板）及び鋼矢板打設（U形矢板、組合せ矢板）のうちディーゼルハンマによる打設に適用する。</p> <p>2. 鋼矢板打設（ディーゼルハンマ） 2-1 代価表作成手順 [鋼矢板・鋼管矢板打設の積算]</p> <p>2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所 → 施工区分の選定 → ① 施工区分（陸上打設） ↓ (鋼矢板) ・ 種類、型式 ・ 鋼矢板長 ・ 2枚打ちの有無 (鋼管矢板) ・ 鋼管矢板径、肉厚 ・ 鋼管矢板長 → 鋼材諸元の選定 → (鋼矢板) ② 先端閉塞換算面積 ③ 周辺長 ④ 鋼材質量 (鋼管矢板) ④ 鋼材質量 ↓ (鋼矢板) ② 先端閉塞換算面積 ③ 周辺長 ・ 根入れ長 ・ 先端地盤のN値 ・ 周辺地盤の加重平均N値 (鋼管矢板) ・ 鋼管矢板径 ・ 根入れ長 ・ 先端地盤のN値 ・ 周辺地盤の加重平均N値 → 貫入抵抗値の算出 → ⑤ 貫入抵抗値 ↓ ・ ハンマ形式 ④ 鋼材質量 ⑤ 貫入抵抗値 → ハンマ規格の決定 → ⑥ ハンマ形式・規格 ・ 中間層を打抜く場合 → 規格を1ランク上に変更 ↓ ⑥ ハンマ形式・規格 → 機械の規格選定 → (陸上打設) ⑦ 杭打機の規格 ⑧ クロークレーンの規格 ① 施工区分 (陸上打設) ・ 鋼材種別 (海上打設) ・ 鋼材種別 ・ ハンマ選択条件 → 規格・組合せの変更 ↓ (鋼管矢板) ・ 継杭施工の有無、杭径 → 継手溶接機械の選定 → ⑨ 溶接機械の台数・規格 ↓ ・ 施工場所 → 水雷・傷害保険の検討 → ・ 必要な場合は水雷・傷害保険料を計上(共通仮設費) ↓ ① 施工区分 (鋼矢板) ・ 2枚打ちの有無 (鋼管矢板) ・ 継杭吊込み回数 → 準備時間の算定 → ⑩ 1枚・本当り準備時間 	<p>杭打船(ディーゼルハンマ式)損料削除に伴う海上打設の削除</p>

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本工 4.5 鋼矢板式 P3-4.5-(7)	<p>（鋼矢板） ・根入れ長、層厚 ・表層平均N値 ・鋼矢板種類・型式 （鋼管矢板） ・根入れ長、層厚 ・表層平均N値 ・加重平均N値</p> <p>→ 打撃時間の算定 → ⑭ 1枚・本当り打撃時間</p> <p>↓</p> <p>（鋼管矢板） ・鋼管矢板径 ・板厚 ・継手個所数</p> <p>→ 溶接時間の算定 → ⑮ 1本当り溶接時間</p> <p>↓</p> <p>⑬ 1枚・本当り準備時間 ⑭ 1枚・本当り打撃時間 ⑮ 1本当り溶接時間</p> <p>→ 1枚・本当り打設時間の算定 → ⑯ 1枚・本当り打設時間</p> <p>↓</p> <p>① 施工区分 ・海象条件の有無 ・障害の有無 ・鋼材種類 ・施工規模</p> <p>→ 作業能力補正係数の選定 → ⑰ 基本作業能力係数 ⑱ 作業能力補正係数 ⑲ 海象条件区分 ⑳ 障害区分 ㉑ 施工規模区分</p> <p>↓</p> <p>⑯ 1枚・本当り打設時間 ⑰ 基本作業能力係数 ⑱ 作業能力補正係数</p> <p>→ 1日当り打設枚・本数の算定 → ⑲ 1日当り打設枚・本数</p> <p>↓</p> <p>① 施工区分 ・鋼矢板種類・型式 ・鋼管矢板長 ・鋼管矢板径 ・継杭施工の有無、杭径</p> <p>→ 労務人数の選定 → ㉒ 打設1日当り労務人数</p> <p>↓</p> <p>⑯ 1日当り打設枚・本数 ⑲ 打設1日当り労務人数 ㉒ 溶接機械の台数・規格 ① 施工区分 （陸上打設） ⑦ 杭打機の規格 ⑧ クローラークレーンの有無、規格 （海上打設） ⑨ 杭打船の規格 ⑩ 台船の規格 ⑪ 引船の有無、規格 ⑫ 潜水士船の有無 ・供用係数</p> <p>→ 代価表の作成 → ・鋼矢板・鋼管矢板打設 （ディーゼルハンマ） 1日（枚・本）当り代価表</p>	<p>（鋼矢板） ・根入れ長、層厚 ・表層平均N値 ・鋼矢板種類・型式 （鋼管矢板） ・根入れ長、層厚 ・表層平均N値 ・加重平均N値</p> <p>→ 打撃時間の算定 → ⑪ 1枚・本当り打撃時間</p> <p>↓</p> <p>（鋼管矢板） ・鋼管矢板径 ・板厚 ・継手個所数</p> <p>→ 溶接時間の算定 → ⑫ 1本当り溶接時間</p> <p>↓</p> <p>⑩ 1枚・本当り準備時間 ⑪ 1枚・本当り打撃時間 ⑫ 1本当り溶接時間</p> <p>→ 1枚・本当り打設時間の算定 → ⑬ 1枚・本当り打設時間</p> <p>↓</p> <p>① 施工区分 ・海象条件の有無 ・障害の有無 ・鋼材種類 ・施工規模</p> <p>→ 作業能力補正係数の選定 → ⑭ 基本作業能力係数 ⑮ 作業能力補正係数 ⑯ 海象条件区分 ⑰ 障害区分 ⑱ 施工規模区分</p> <p>↓</p> <p>⑬ 1枚・本当り打設時間 ⑭ 基本作業能力係数 ⑮ 作業能力補正係数</p> <p>→ 1日当り打設枚・本数の算定 → ⑯ 1日当り打設枚・本数</p> <p>↓</p> <p>① 施工区分 ・鋼矢板種類・型式 ・鋼管矢板長 ・鋼管矢板径 ・継杭施工の有無、杭径</p> <p>→ 労務人数の選定 → ⑰ 打設1日当り労務人数</p> <p>↓</p> <p>⑯ 1日当り打設枚・本数 ⑰ 打設1日当り労務人数 ⑱ 溶接機械の台数・規格 ① 施工区分 （陸上打設） ⑦ 杭打機の規格 ⑧ クローラークレーンの有無、規格</p> <p>→ 代価表の作成 → ・鋼矢板・鋼管矢板打設 （ディーゼルハンマ） 1日（枚・本）当り代価表</p>	<p>杭打船（ディーゼルハンマ式）損料削除に伴う海上打設の削除</p>
	<p><u>【杭打船ハンマ付替の積算】</u></p> <p>2-3</p> <p>・ハンマ形式・規格 ・杭打船の規格</p> <p>→ ハンマ付替の有無の判断 → ・複数規格のハンマを使用する場合 ・標準装備ハンマを付替える場合</p> <p>↓</p> <p>（ハンマを付替える場合） ・現場条件</p> <p>→ 施工場所の選定 → ① 施工場所 （陸上、海上付替）</p> <p>↓</p> <p>・ハンマ規格 ① 施工場所 ・現場条件</p> <p>→ クレーン類の種類・規格の決定 → ② クレーン類の種類・規格</p> <p>↓</p> <p>② クレーン類の種類・規格 ① 施工場所</p> <p>→ 引船規格の選定 → ③ 引船の規格</p>		

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																																																																																																																																																		
4節 本体内 4.5 鋼矢板式 P3-4.5-(10)	<p>2-3 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力 } 鋼管矢板は、「第4節 本体内、4.5 鋼矢板式、2-1-4-2 鋼矢板打設（鋼管矢板）」を適用する。 2) 労務編成 } 鋼矢板（U形矢板、組合せ矢板）は、「第4節 本体内、4.5 鋼矢板式、参考資料-1 鋼矢板打設（U形矢板、組合せ矢板）」を適用する。 3) 拘束費 }</p> <p>4) 代価表 (1) 鋼矢板・鋼管矢板打設（ディーゼルハンマ） 1日（枚・本）当り</p> <table border="1" data-bbox="409 443 1299 940"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上打設</th> <th>海上打設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>t</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>杭打船 運転</td> <td>D-</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>台船</td> <td>鋼 t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>揚錨船</td> <td>鋼D5t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン（油）</td> <td>t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接機</td> <td>半自動 500A</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.現場条件により杭打船の移動が必要な場合は、引船を計上する。 2.台船および引船の規格は、鋼矢板・鋼管矢板海上運搬の規格とする。 3.打設予定個所の障害物の有無および打設後の異常の有無等の調査作業が伴う場合は、潜水士船を計上する。 4.鋼管矢板の継杭を施工する場合は、溶接工・溶接機・発動発電機を計上する。 5.現場条件によりヤットコが必要な場合はヤットコを計上する。 6.クローラクレーンは、打設現場の小運搬用として必要に応じて計上する。</p> <p>(2) 杭打船ハンマ付替 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1165 1299 1591"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上付替</th> <th>海上付替</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>杭打船 供用</td> <td>D-</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>揚錨船</td> <td>鋼D5t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン または クレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 鋼D t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>日</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>日</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.杭打船のディーゼルハンマの付替に適用する。（当該工事で複数の規格のハンマを使用する場合、あるいは標準装備のハンマを当該工事で使用する規格のハンマに取替える場合） 2.クレーン類の種類・規格は、ハンマ質量及び現場条件により決定する。 3.引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2.作業船と引船の標準組合せ」による。</p> <p>(3) 杭打船拘束 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1791 1299 1885"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>杭打船 供用</td> <td>D-</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>揚錨船</td> <td>鋼D5t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上打設	海上打設	クローラ式杭打機	t	日	1	-	標準運転時間	杭打船 運転	D-	日	-	1	運6H/就8H	台船	鋼 t積	日	-	1	就業8H	引船	鋼D PS型	日	-	-	運2H/就8H	潜水士船	D270PS型 3~5t吊	日	-	-	就業8H	揚錨船	鋼D5t吊	日	-	1	-	クローラクレーン（油）	t吊	日	-	-	標準運転時間	世話役		人				とび工		日				普通作業員		日				溶接工		日				溶接機	半自動 500A	日				発動発電機	kVA	日				雑材料						名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上付替	海上付替	杭打船 供用	D-	日	1	-		揚錨船	鋼D5t吊	日	-	1		トラッククレーン または クレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 鋼D t吊	日	-	1	運4H/就8H	引船	鋼D PS型	日	-	1	運2H/就8H	世話役		人	1			とび工		日	8			溶接工		日	2			普通作業員		日	6			雑材料						名称	形状寸法	単位	数量	摘要	杭打船 供用	D-	日			揚錨船	鋼D5t吊	日			<p>2-3 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力 } 鋼管矢板は、「第4節 本体内、4.5 鋼矢板式、2-1-4-2 鋼矢板打設（鋼管矢板）」を適用する。 2) 労務編成 } 鋼矢板（U形矢板、組合せ矢板）は、「第4節 本体内、4.5 鋼矢板式、参考資料-1 鋼矢板打設（U形矢板、組合せ矢板）」を適用する。</p> <p>3) 代価表 (1) 鋼矢板・鋼管矢板打設（ディーゼルハンマ） 1日（枚・本）当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 443 2487 762"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上打設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>t</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン（油）</td> <td>t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接機</td> <td>半自動 500A</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.鋼管矢板の継杭を施工する場合は、溶接工・溶接機・発動発電機を計上する。 2.現場条件によりヤットコが必要な場合はヤットコを計上する。 3.クローラクレーンは、打設現場の小運搬用として必要に応じて計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	陸上打設	クローラ式杭打機	t	日	1	標準運転時間	クローラクレーン（油）	t吊	日	-	標準運転時間	世話役		人			とび工		日			普通作業員		日			溶接工		日			溶接機	半自動 500A	日			発動発電機	kVA	日			雑材料					<p>杭打船(ディーゼルハンマ式)損料削除に伴う海上打設の削除</p>
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																																																													
		陸上打設	海上打設																																																																																																																																																																																																																																		
クローラ式杭打機	t	日	1	-	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																
杭打船 運転	D-	日	-	1	運6H/就8H																																																																																																																																																																																																																																
台船	鋼 t積	日	-	1	就業8H																																																																																																																																																																																																																																
引船	鋼D PS型	日	-	-	運2H/就8H																																																																																																																																																																																																																																
潜水士船	D270PS型 3~5t吊	日	-	-	就業8H																																																																																																																																																																																																																																
揚錨船	鋼D5t吊	日	-	1	-																																																																																																																																																																																																																																
クローラクレーン（油）	t吊	日	-	-	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																
世話役		人																																																																																																																																																																																																																																			
とび工		日																																																																																																																																																																																																																																			
普通作業員		日																																																																																																																																																																																																																																			
溶接工		日																																																																																																																																																																																																																																			
溶接機	半自動 500A	日																																																																																																																																																																																																																																			
発動発電機	kVA	日																																																																																																																																																																																																																																			
雑材料																																																																																																																																																																																																																																					
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																																																																
			陸上付替	海上付替																																																																																																																																																																																																																																	
杭打船 供用	D-	日	1	-																																																																																																																																																																																																																																	
揚錨船	鋼D5t吊	日	-	1																																																																																																																																																																																																																																	
トラッククレーン または クレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 鋼D t吊	日	-	1	運4H/就8H																																																																																																																																																																																																																																
引船	鋼D PS型	日	-	1	運2H/就8H																																																																																																																																																																																																																																
世話役		人	1																																																																																																																																																																																																																																		
とび工		日	8																																																																																																																																																																																																																																		
溶接工		日	2																																																																																																																																																																																																																																		
普通作業員		日	6																																																																																																																																																																																																																																		
雑材料																																																																																																																																																																																																																																					
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																																	
杭打船 供用	D-	日																																																																																																																																																																																																																																			
揚錨船	鋼D5t吊	日																																																																																																																																																																																																																																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																																	
			陸上打設																																																																																																																																																																																																																																		
クローラ式杭打機	t	日	1	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																	
クローラクレーン（油）	t吊	日	-	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																	
世話役		人																																																																																																																																																																																																																																			
とび工		日																																																																																																																																																																																																																																			
普通作業員		日																																																																																																																																																																																																																																			
溶接工		日																																																																																																																																																																																																																																			
溶接機	半自動 500A	日																																																																																																																																																																																																																																			
発動発電機	kVA	日																																																																																																																																																																																																																																			
雑材料																																																																																																																																																																																																																																					

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本体内工 4.6 鋼杭式 目次	4節 本体内工 4.6 鋼杭式 1. 総則 1-1 適用範囲 3-4.6-1 1-2 積算ツリー 3-4.6-1 1-3 積算フロー 3-4.6-1 1-4 標準的な積算手順 3-4.6-2 1-5 数量計算等 1-5-1 集計数値 3-4.6-2 2. 鋼杭工 2-1 適用範囲 3-4.6-3 2-2 施工フロー 3-4.6-3 2-3 鋼杭 2-3-1 鋼杭準備 2-3-1-1 代価表作成手順 3-4.6-4 2-3-1-2 施工歩掛 3-4.6-4 2-3-2 鋼杭運搬 2-3-2-1 代価表作成手順 3-4.6-6 2-3-2-2 作業船・機械の組合せ 3-4.6-7 2-3-2-3 施工歩掛 3-4.6-7 2-3-3 鋼杭打設 2-3-3-1 打設工法の選定 3-4.6-9 2-3-3-2 鋼杭打設（鋼管杭） 2-3-3-2-1 代価表作成手順 3-4.6-10 2-3-3-2-2 打設方式・規格 3-4.6-12 2-3-3-2-3 施工歩掛 3-4.6-14 2-3-4 導材 2-3-4-1 代価表作成手順 3-4.6-17 2-3-4-2 導材の構造・規格 3-4.6-17 2-3-4-3 施工歩掛 3-4.6-18 2-3-5 鋼杭処理 2-3-5-1 鋼杭切断 2-3-5-1-1 代価表作成手順 3-4.6-19 2-3-5-1-2 施工方式 3-4.6-19 2-3-5-1-3 施工歩掛 3-4.6-19 参考資料 参考資料-1 鋼杭打設（H形鋼杭） 3-4.6-(1) 参考資料-2 鋼杭打設（ディーゼルハンマ） 3-4.6-(2)	4節 本体内工 4.6 鋼杭式 1. 総則 1-1 適用範囲 3-4.6-1 1-2 積算ツリー 3-4.6-1 1-3 積算フロー 3-4.6-1 1-4 標準的な積算手順 3-4.6-2 1-5 数量計算等 1-5-1 集計数値 3-4.6-2 2. 鋼杭工 2-1 適用範囲 3-4.6-3 2-2 施工フロー 3-4.6-3 2-3 鋼杭 2-3-1 鋼杭準備 2-3-1-1 代価表作成手順 3-4.6-4 2-3-1-2 施工歩掛 3-4.6-4 2-3-2 鋼杭運搬 2-3-2-1 代価表作成手順 3-4.6-6 2-3-2-2 作業船・機械の組合せ 3-4.6-7 2-3-2-3 施工歩掛 3-4.6-7 2-3-3 鋼杭打設 2-3-3-1 打設工法の選定 3-4.6-9 2-3-3-2 鋼杭打設（鋼管杭） 2-3-3-2-1 代価表作成手順 3-4.6-10 2-3-3-2-2 打設方式・規格 3-4.6-12 2-3-3-2-3 施工歩掛 3-4.6-14 2-3-4 導材 2-3-4-1 代価表作成手順 3-4.6-17 2-3-4-2 導材の構造・規格 3-4.6-17 2-3-4-3 施工歩掛 3-4.6-18 2-3-5 鋼杭処理 2-3-5-1 鋼杭切断 2-3-5-1-1 代価表作成手順 3-4.6-19 2-3-5-1-2 施工方式 3-4.6-19 2-3-5-1-3 施工歩掛 3-4.6-19 参考資料 参考資料-1 鋼杭打設（H形鋼杭） 3-4.6-(1) 参考資料-2 鋼杭打設（ディーゼルハンマ） 3-4.6-(6)	ページ番号の修正
4節 本体内工 4.6 鋼杭式 P3-4.6-19	2-3-5-1-1 代価表作成手順 2-3-5-1-3 ・現場条件等 → 足場の必要性の検討 → ・必要な場合は足場架払を別途計上 ↓ ・鋼管杭、H形鋼杭の板厚 → 切断時間の決定 → ① 1m当り切断時間 ↓ ・施工場所 → 1日当り作業時間の選定 → ② 1日当り作業時間 ↓ ① 1m当り切断時間 → 1日当り切断長の算定 → ③ 1日当り切断長 ② 1日当り作業時間 ↓ 【第4章 市場単価】 ・施工規模 → 補正係数の選定 → ④ 補正係数	2-3-5-1-1 代価表作成手順 2-3-5-1-3 ・現場条件等 → 足場の必要性の検討 → ・必要な場合は足場架払を別途計上 ↓ ・鋼管杭、H形鋼杭の板厚 → 切断時間の決定 → ① 1m当り切断時間 ↓ ・施工場所 → 1日当り作業時間の選定 → ② 1日当り作業時間 ↓ ① 1m当り切断時間 → 1日当り切断長の算定 → ③ 1日当り切断長 ② 1日当り作業時間 ↓ 【第4章 市場単価等】 ・施工規模 → 補正係数の選定 → ④ 補正係数	記載の追記

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本土工 4.6 鋼杭式 P3-4.6-(6)	<p>参考資料-2 鋼杭打設(ディーゼルハンマ)</p> <p>1. 適用範囲 本項は、鋼杭打設（鋼管杭）及び鋼杭打設（H形鋼）のうちディーゼルハンマによる打設に適用する。</p> <p>2. 鋼杭打設（ディーゼルハンマ） 2-1 代価表作成手順 [鋼杭打設の積算]</p> <p>2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所 → 施工区分の選定 → ①施工区分（陸上、海上打設） ↓ (鋼管杭) ・ 鋼管杭径、肉厚 ・ 鋼管杭長 (H形鋼杭) ・ H形鋼型式 ・ H形鋼杭長 → 鋼材諸元の選定 → (鋼管杭) ④鋼材質量 (H形鋼杭) ②先端閉塞換算面積 ③周辺長 ④鋼材質量 ↓ (鋼管杭) ・ 鋼管杭径 ・ 根入れ長 ・ 先端地盤のN値 ・ 周辺地盤の加重平均N値 (H形鋼杭) ②先端閉塞換算面積 ③周辺長 ・ 根入れ長 ・ 先端地盤のN値 ・ 周辺地盤の加重平均N値 → 貫入抵抗値の算出 → ⑤貫入抵抗値 ↓ ・ ハンマ形式 ④鋼材質量 ⑤貫入抵抗値 → ハンマ規格の決定 → ⑥ハンマ形式・規格 ↑ ・ 中間層を打抜く場合 → 規格を1ランク上に変更 ↓ ⑥ハンマ形式・規格 ①施工区分（陸上打設） ・ 鋼材種別（海上打設） ・ 台船・引船の規格（「2-3-2」） → 作業船・機械の規格選定 → (陸上打設) ⑦杭打機の規格 ⑧クローラークレーンの規格 (海上打設) ⑨杭打船の規格 ⑩台船の規格 引船の有無、規格 ⑪潜水主船の有無 ↑ ・ ハンマ選択条件 ・ 作業船の移動の有無 ・ 海上打設における障害物・異常の有無 → 規格・組合せの変更 ↓ (鋼管杭) ・ 継杭施工の有無、杭径 → 継手溶接機械の選定 → ⑫溶接機械の台数・規格 ↓ ・ 施工場所 → 水雷・傷害保険の検討 → ・ 必要な場合は水雷・傷害保険料を計上（共通仮設費） ↓ ①施工区分（鋼管杭） ・ 継杭吊込み回数 → 2-3 準備時間の算定 → ⑬1本当り準備時間 	<p>参考資料-2 鋼杭打設(ディーゼルハンマ)</p> <p>1. 適用範囲 本項は、鋼杭打設（鋼管杭）及び鋼杭打設（H形鋼）のうちディーゼルハンマによる打設に適用する。</p> <p>2. 鋼杭打設（ディーゼルハンマ） 2-1 代価表作成手順 [鋼杭打設の積算]</p> <p>2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所 → 施工区分の選定 → ①施工区分（陸上打設） ↓ (鋼管杭) ・ 鋼管杭径、肉厚 ・ 鋼管杭長 (H形鋼杭) ・ H形鋼型式 ・ H形鋼杭長 → 鋼材諸元の選定 → (鋼管杭) ④鋼材質量 (H形鋼杭) ②先端閉塞換算面積 ③周辺長 ④鋼材質量 ↓ (鋼管杭) ・ 鋼管杭径 ・ 根入れ長 ・ 先端地盤のN値 ・ 周辺地盤の加重平均N値 (H形鋼杭) ②先端閉塞換算面積 ③周辺長 ・ 根入れ長 ・ 先端地盤のN値 ・ 周辺地盤の加重平均N値 → 貫入抵抗値の算出 → ⑤貫入抵抗値 ↓ ・ ハンマ形式 ④鋼材質量 ⑤貫入抵抗値 → ハンマ規格の決定 → ⑥ハンマ形式・規格 ↑ ・ 中間層を打抜く場合 → 規格を1ランク上に変更 ↓ ⑥ハンマ形式・規格 ①施工区分（陸上打設） ・ 鋼材種別 → 機械の規格選定 → (陸上打設) ⑦杭打機の規格 ⑧クローラークレーンの規格 規格・組合せの変更 ↑ ・ ハンマ選択条件 ↓ (鋼管杭) ・ 継杭施工の有無、杭径 → 継手溶接機械の選定 → ⑨溶接機械の台数・規格 ↓ ・ 施工場所 → 水雷・傷害保険の検討 → ・ 必要な場合は水雷・傷害保険料を計上（共通仮設費） ↓ ①施工区分（鋼管杭） ・ 継杭吊込み回数 → 2-3 準備時間の算定 → ⑩1本当り準備時間 	<p>杭打船(ディーゼルハンマ式)損料削除に伴う海上打設の削除</p>

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
4節 本土工 4.6 鋼杭式 P3-4.6-(7)	<div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ (鋼管杭) ・鋼管杭径 ・根入れ長、層厚 ・表層N値 ・加重平均N値</p> <p>→ (H形鋼杭) ・H形鋼型式 ・根入れ長、層厚 ・表層N値 ・加重平均N値</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ (鋼管杭) ・鋼管杭径 ・板厚 ・継手個所数</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ⑬ 1本当り準備時間 ⑭ 1本当り打撃時間 ⑮ 1本当り溶接時間</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ① 施工区分 ・海象条件の有無 ・鋼材種別 ・施工規模</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ⑯ 1本当り打設時間 ⑰ 基本作業能力係数 ⑱ 作業能力補正係数</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ① 施工区分 ・鋼管杭長 ・継杭施工の有無、杭径 ・H形鋼型式 ・H形鋼杭長</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ⑯ 1日当り打設本数 ⑰ 打設1日当り労務人数 ⑱ 溶接機械の台数・規格 ① 施工区分 (陸上打設) ⑦ 杭打機の規格 ⑧ クローラレンの規格 (海上打設) ⑨ 杭打船の規格 ⑩ 台船の規格 ⑪ 引船の有無、規格 ⑫ 潜水主船の有無 ・供用係数</p> <p><u>[杭打船ハンマ付替の積算]</u></p> <p>→ <u>ハンマ形式・規格</u> <u>杭打船の規格</u></p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ (ハンマを付替える場合) <u>現場条件</u></p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ <u>ハンマ規格</u> ① 施工場所 <u>現場条件</u></p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ (海上付替) ② クレーン類の種類・規格 ① 施工場所</p>	<div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ (鋼管杭) ・鋼管杭径 ・根入れ長、層厚 ・表層N値 ・加重平均N値</p> <p>→ (H形鋼杭) ・H形鋼型式 ・根入れ長、層厚 ・表層N値 ・加重平均N値</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ (鋼管杭) ・鋼管杭径 ・板厚 ・継手個所数</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ⑩ 1本当り準備時間 ⑪ 1本当り打撃時間 ⑫ 1本当り溶接時間</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ① 施工区分 ・海象条件の有無 ・鋼材種別 ・施工規模</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ⑬ 1本当り打設時間 ⑭ 基本作業能力係数 ⑮ 作業能力補正係数</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ⑬ 1本当り打設本数 ⑭ 基本作業能力係数 ⑮ 作業能力補正係数</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ① 施工区分 ・鋼管杭長 ・継杭施工の有無、杭径 ・H形鋼型式 ・H形鋼杭長</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <p>→ ⑯ 1日当り打設本数 ⑰ 打設1日当り労務人数 ⑱ 溶接機械の台数・規格 ① 施工区分 (陸上打設) ⑦ 杭打機の規格 ⑧ クローラレンの規格</p> <p>→ ・鋼杭打設(ディーゼルハンマ) 1日(本)当り 代価表</p>	<p>→ ⑭ 1本当り打撃時間</p> <p>→ ⑫ 1本当り溶接時間</p> <p>→ ⑬ 1本当り打設時間</p> <p>→ ⑭ 基本作業能力係数 ⑮ 作業能力補正係数</p> <p>→ ⑯ 1日当り打設本数</p> <p>→ ⑰ 打設1日当り労務人数</p> <p>→ ・鋼杭打設(ディーゼルハンマ) 1日(本)当り 代価表</p> <p>杭打船(ディーゼルハンマ式)損料削除に伴う海上打設の削除</p>

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																																																																																																																																																		
4節 本体内 4.6 鋼杭式 P3-4.6-(10)	<p>2-3 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力 } 鋼管杭は、「第4節 本体内、4.6 鋼杭式、2-3-3-2 鋼杭打設（鋼管杭）、2-3-3-2-3 施工歩掛」を適用する。</p> <p>2) 労務編成 } 鋼杭（H形鋼杭）は、「第4節 本体内、4.6 鋼杭式、参考資料-1 鋼杭打設（H形鋼）、2-3 施工歩掛」を適用する。</p> <p>3) 拘束費 }</p> <p>4) 代価表</p> <p>(1) 鋼杭打設（ディーゼルハンマ） 1日（本）当り</p> <table border="1" data-bbox="409 443 1279 940"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上打設</th> <th>海上打設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>t</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>杭打船運搬</td> <td>D-</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>台船</td> <td>鋼 t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>揚錨船</td> <td>鋼D5t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン（油）</td> <td>t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接機</td> <td>半自動 500A</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.現場条件により杭打船の移動が必要な場合は、引船を計上する。 2.台船および引船の規格は、鋼杭海上運搬の規格とする。 3.打設予定個所の障害物の有無および打設後の異常の有無等の調査作業が伴う場合は、潜水士船を計上する。 4.鋼管杭の継杭を施工する場合は、溶接工・溶接機・発動発電機を計上する。 5.現場条件によりヤットコが必要な場合はヤットコを計上する。 6.クローラクレーンは、打設現場の小運搬用として必要に応じて計上する。</p> <p>(2) 杭打船ハンマ付替 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1163 1279 1587"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上付替</th> <th>海上付替</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>杭打船供用</td> <td>D-</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>揚錨船</td> <td>鋼D5t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン または クレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 起重機船</td> <td>t吊 鋼D t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>日</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>日</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.杭打船のディーゼルハンマの付替に適用する。（当該工事で複数の規格のハンマを使用する場合、あるいは標準装備のハンマを当該工事で使用する規格のハンマに取替える場合） 2.クレーン類の種類・規格は、ハンマ質量及び現場条件により決定する。 3.引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2.作業船と引船の標準組合せ」による。</p> <p>(3) 杭打船拘束 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1789 1279 1881"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>杭打船供用</td> <td>D-</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>揚錨船</td> <td>鋼D5t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上打設	海上打設	クローラ式杭打機	t	日	1	-	標準運転時間	杭打船運搬	D-	日	-	1	運6H/就8H	台船	鋼 t積	日	-	1	就業8H	引船	鋼D PS型	日	-	-	運2H/就8H	潜水士船	D270PS型 3~5t吊	日	-	-	就業8H	揚錨船	鋼D5t吊	日	-	1	-	クローラクレーン（油）	t吊	日	-	-	標準運転時間	世話役		人				とび工		日				普通作業員		日				溶接工		日				溶接機	半自動 500A	日				発動発電機	kVA	日				雑材料						名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上付替	海上付替	杭打船供用	D-	日	1	-		揚錨船	鋼D5t吊	日	1	-		トラッククレーン または クレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間	クレーン付台船 起重機船	t吊 鋼D t吊	日	-	1	運4H/就8H	引船	鋼D PS型	日	-	1	運2H/就8H	世話役		人	1			とび工		日	8			溶接工		日	2			普通作業員		日	6			雑材料						名称	形状寸法	単位	数量	摘要	杭打船供用	D-	日			揚錨船	鋼D5t吊	日			<p>2-3 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力 } 鋼管杭は、「第4節 本体内、4.6 鋼杭式、2-3-3-2 鋼杭打設（鋼管杭）、2-3-3-2-3 施工歩掛」を適用する。</p> <p>2) 労務編成 } 鋼杭（H形鋼杭）は、「第4節 本体内、4.6 鋼杭式、参考資料-1 鋼杭打設（H形鋼）、2-3 施工歩掛」を適用する。</p> <p>3) 代価表</p> <p>(1) 鋼杭打設（ディーゼルハンマ） 1日（本）当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 443 2487 762"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上打設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>t</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン（油）</td> <td>t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接機</td> <td>半自動 500A</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.鋼管杭の継杭を施工する場合は、溶接工・溶接機・発動発電機を計上する。 2.クローラクレーンは、打設現場の小運搬用として必要に応じて計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	陸上打設	クローラ式杭打機	t	日	1	標準運転時間	クローラクレーン（油）	t吊	日	-	標準運転時間	世話役		人			とび工		日			普通作業員		日			溶接工		日			溶接機	半自動 500A	日			発動発電機	kVA	日			雑材料					
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																																																													
		陸上打設	海上打設																																																																																																																																																																																																																																		
クローラ式杭打機	t	日	1	-	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																
杭打船運搬	D-	日	-	1	運6H/就8H																																																																																																																																																																																																																																
台船	鋼 t積	日	-	1	就業8H																																																																																																																																																																																																																																
引船	鋼D PS型	日	-	-	運2H/就8H																																																																																																																																																																																																																																
潜水士船	D270PS型 3~5t吊	日	-	-	就業8H																																																																																																																																																																																																																																
揚錨船	鋼D5t吊	日	-	1	-																																																																																																																																																																																																																																
クローラクレーン（油）	t吊	日	-	-	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																
世話役		人																																																																																																																																																																																																																																			
とび工		日																																																																																																																																																																																																																																			
普通作業員		日																																																																																																																																																																																																																																			
溶接工		日																																																																																																																																																																																																																																			
溶接機	半自動 500A	日																																																																																																																																																																																																																																			
発動発電機	kVA	日																																																																																																																																																																																																																																			
雑材料																																																																																																																																																																																																																																					
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																																																																
			陸上付替	海上付替																																																																																																																																																																																																																																	
杭打船供用	D-	日	1	-																																																																																																																																																																																																																																	
揚錨船	鋼D5t吊	日	1	-																																																																																																																																																																																																																																	
トラッククレーン または クレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																
クレーン付台船 起重機船	t吊 鋼D t吊	日	-	1	運4H/就8H																																																																																																																																																																																																																																
引船	鋼D PS型	日	-	1	運2H/就8H																																																																																																																																																																																																																																
世話役		人	1																																																																																																																																																																																																																																		
とび工		日	8																																																																																																																																																																																																																																		
溶接工		日	2																																																																																																																																																																																																																																		
普通作業員		日	6																																																																																																																																																																																																																																		
雑材料																																																																																																																																																																																																																																					
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																																	
杭打船供用	D-	日																																																																																																																																																																																																																																			
揚錨船	鋼D5t吊	日																																																																																																																																																																																																																																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																																	
			陸上打設																																																																																																																																																																																																																																		
クローラ式杭打機	t	日	1	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																	
クローラクレーン（油）	t吊	日	-	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																	
世話役		人																																																																																																																																																																																																																																			
とび工		日																																																																																																																																																																																																																																			
普通作業員		日																																																																																																																																																																																																																																			
溶接工		日																																																																																																																																																																																																																																			
溶接機	半自動 500A	日																																																																																																																																																																																																																																			
発動発電機	kVA	日																																																																																																																																																																																																																																			
雑材料																																																																																																																																																																																																																																					

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
5節 被覆・根固工 P3-5-24	<p>5-2-4-1 代価表作成手順</p> <p>・ 施工場所 → 【第4章 市場単価】 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・ 市場単価適用条件以外は別途積算</p>	<p>5-2-4-1 代価表作成手順</p> <p>・ 施工場所 → 【第4章 市場単価等】 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・ 市場単価適用条件以外は別途積算</p>	記載の追記
5節 被覆・根固工 P3-5-25	<p>[枠組足場架払の積算]</p> <p>・ クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → 【第4章 市場単価】 5-2-5-2 クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	<p>[枠組足場架払の積算]</p> <p>・ クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → 【第4章 市場単価等】 5-2-5-2 クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	記載の追記
5節 被覆・根固工 P3-5-26	<p>5-2-6-1 代価表作成手順</p> <p>・ 鉄筋径 → 加工方法の選定 → ・ 38mm以上は別途算定</p> <p>↓</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・ クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → 【第4章 市場単価】 クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p> <p>5-2-7-1 代価表作成手順 [吊鉄筋現場組立の積算]</p> <p>吊鉄筋の種類 → ・ 吊鉄筋(80mm未満) ・ 吊バー(80mm未満)</p> <p>↓</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・ クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → 【第4章 市場単価】 クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	<p>5-2-6-1 代価表作成手順</p> <p>・ 鉄筋径 → 加工方法の選定 → ・ 38mm以上は別途算定</p> <p>↓</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・ クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → 【第4章 市場単価等】 クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p> <p>5-2-7-1 代価表作成手順 [吊鉄筋現場組立の積算]</p> <p>吊鉄筋の種類 → ・ 吊鉄筋(80mm未満) ・ 吊バー(80mm未満)</p> <p>↓</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・ クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → 【第4章 市場単価等】 クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	記載の追記
5節 被覆・根固工 P3-5-27	<p>5-2-8-1 代価表作成手順</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・ クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → 【第4章 市場単価】 クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	<p>5-2-8-1 代価表作成手順</p> <p>・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・ クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → 【第4章 市場単価等】 クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
5節 被覆・根固工 P3-5-28	<p>5-2-9-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 5-2-9-2 ・ 現場条件 → コンクリート打設法の検討 → 打設方法 〔ポンプ車打設 クレーン打設 ミキサー車打設〕 ↓ 【第4章 <u>市場単価</u>】 2-8-3 [ポンプ車打設の積算] ・ コンクリート計画打設量 → 補正係数の検討 → ①施工規模補正係数 	<p>5-2-9-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 5-2-9-2 ・ 現場条件 → コンクリート打設法の検討 → 打設方法 〔ポンプ車打設 クレーン打設 ミキサー車打設〕 ↓ 【第4章 <u>市場単価等</u>】 2-8-3 [ポンプ車打設の積算] ・ コンクリート計画打設量 → 補正係数の検討 → ①施工規模補正係数 	記載の追記
5節 被覆・根固工 P3-5-29	<p>5-2-9-3 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p>	<p>5-2-9-3 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
6節 上部工 P3-6-10	<p>2-6-2-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工場所 ・施工方法 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2-6-2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート打設方法 → 海上クレーン・引船規格 変更の検討 → ・コンクリート打設が台船バケツ の場合は、規格変更 ①海上クレーンの規格 ②引船の規格 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p>	<p>2-6-2-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工場所 ・施工方法 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2-6-2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート打設方法 → 海上クレーン・引船規格 変更の検討 → ・コンクリート打設が台船バケツ の場合は、規格変更 ①海上クレーンの規格 ②引船の規格 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p>	記載の追記
6節 上部工 P3-6-11	<p>2-6-3-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部工の高さが2m以上の場合 → 足場の必要性の検討 → ・現場条件を考慮し枠組足場が 必要となる場合に計上 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2-6-3-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工場所 ・施工方法等 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は 別途積算 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格 「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・鋼製枠組足場架払 100m²当り代価表 	<p>2-6-3-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部工の高さが2m以上の場合 → 足場の必要性の検討 → ・現場条件を考慮し枠組足場が 必要となる場合に計上 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2-6-3-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工場所 ・施工方法等 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は 別途積算 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格 「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・鋼製枠組足場架払 100m²当り代価表 	記載の追記
6節 上部工 P3-6-12	<p>[鋼製型枠組立組外の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格 「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外(重力式) 100m²当り代価表 <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>[木製型枠組立組外の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格 「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・木製型枠組立組外(重力式) 100m²当り代価表 <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p>	<p>[鋼製型枠組立組外の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格 「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外(重力式) 100m²当り代価表 <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>[木製型枠組立組外の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格 「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・木製型枠組立組外(重力式) 100m²当り代価表 <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
6節 上部工 P3-6-14	<p>2-7-2-1 代価表作成手順 (鋼矢板式の場合)</p> <p>2-7-2-2</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>→ 代価表の作成 → ・支保組立組外(鋼矢板式) 100m当り代価表</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>→ ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数</p>	<p>2-7-2-1 代価表作成手順 (鋼矢板式の場合)</p> <p>2-7-2-2</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>→ 代価表の作成 → ・支保組立組外(鋼矢板式) 100m当り代価表</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>→ ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数</p>	記載の追記
6節 上部工 P3-6-16	<p>2-7-3-1 代価表作成手順 (鋼矢板式の場合)</p> <p>→ 足場の必要性の検討 → ・上部工の高さが 2m以上の場合に計上</p> <p>↓</p> <p>2-7-3-2</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>→ 代価表の作成 → ・足場組立組外(鋼矢板式) 100m²当り代価表</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>→ ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数</p>	<p>2-7-3-1 代価表作成手順 (鋼矢板式の場合)</p> <p>→ 足場の必要性の検討 → ・上部工の高さが 2m以上の場合に計上</p> <p>↓</p> <p>2-7-3-2</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>→ 代価表の作成 → ・足場組立組外(鋼矢板式) 100m²当り代価表</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>→ ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数</p>	記載の追記
6節 上部工 P3-6-18	<p>2-7-4-1 代価表作成手順 (鋼矢板式の場合)</p> <p>2-7-4-2</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>→ 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外(鋼矢板式) 100m²当り代価表</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>→ ・鋼製・木製の別 ・施工方法 ・施工場所</p> <p>[鋼製型枠組立組外の積算]</p> <p>→ 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外(鋼矢板式) 100m²当り代価表</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>→ ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数</p> <p>[木製型枠組立組外の積算]</p> <p>→ 代価表の作成 → ・木製型枠組立組外(鋼矢板式) 100m²当り代価表</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>→ ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数</p>	<p>2-7-4-1 代価表作成手順 (鋼矢板式の場合)</p> <p>2-7-4-2</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>→ 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外(鋼矢板式) 100m²当り代価表</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>→ ・鋼製・木製の別 ・施工方法 ・施工場所</p> <p>[鋼製型枠組立組外の積算]</p> <p>→ 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外(鋼矢板式) 100m²当り代価表</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>→ ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数</p> <p>[木製型枠組立組外の積算]</p> <p>→ 代価表の作成 → ・木製型枠組立組外(鋼矢板式) 100m²当り代価表</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>→ ・施工区分 ・クレーン類の種類・規格「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
6節 上部工 P3-6-21	<p>2-10-1-1 代価表作成手順</p> <p>2-10-2-2</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>→ クレーン類の必要性の検討（重力式・鋼矢板式） → ②クレーン類の有無（引船含む）</p> <p>・鉄筋径 ・施工場所 ・施工方法</p> <p>・現場条件</p>	<p>2-10-1-1 代価表作成手順</p> <p>2-10-2-2</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>→ クレーン類の必要性の検討（重力式・鋼矢板式） → ②クレーン類の有無（引船含む）</p> <p>・鉄筋径 ・施工場所 ・施工方法</p> <p>・現場条件</p>	記載の追記
6節 上部工 P3-6-22	<p>2-10-3-1 代価表作成手順</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>→ 溶接時間の決定 → ①1m当り溶接時間</p> <p>↓</p> <p>→ 1日当り作業時間の選定 → ②1日当り作業時間</p> <p>↓</p> <p>①1m当り溶接時間 ②1日当り作業時間 → 1日当り溶接長の算定 → ③1日当り溶接長</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>→ 補正係数の選定 → ④補正係数（施工規模、溶接姿勢）</p> <p>・現場条件等</p> <p>・継手の種類 ・対象板厚 ・作業条件・難易性</p> <p>・施工区分</p> <p>①1m当り溶接時間 ②1日当り作業時間</p> <p>・施工規模 ・溶接姿勢</p>	<p>2-10-3-1 代価表作成手順</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>→ 溶接時間の決定 → ①1m当り溶接時間</p> <p>↓</p> <p>→ 1日当り作業時間の選定 → ②1日当り作業時間</p> <p>↓</p> <p>①1m当り溶接時間 ②1日当り作業時間 → 1日当り溶接長の算定 → ③1日当り溶接長</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>→ 補正係数の選定 → ④補正係数（施工規模、溶接姿勢）</p> <p>・現場条件等</p> <p>・継手の種類 ・対象板厚 ・作業条件・難易性</p> <p>・施工区分</p> <p>①1m当り溶接時間 ②1日当り作業時間</p> <p>・施工規模 ・溶接姿勢</p>	記載の追記
6節 上部工 P3-6-24	<p>3) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p> <p>2-11-1 代価表作成手順</p> <p>2-11-2</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>→ 代価表の作成 → ・伸縮目地 100m²当り代価表</p> <p>・目地材の選定</p> <p>・材料区分</p>	<p>3) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p> <p>2-11-1 代価表作成手順</p> <p>2-11-2</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>→ 代価表の作成 → ・伸縮目地 100m²当り代価表</p> <p>・目地材の選定</p> <p>・材料区分</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
6節 上部工 P3-6-26	<p>[ポンプ車打設の場合]</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】 2-12-2-2</p> <p>・コンクリート計画打設量 → 補正係数の検討 → ①施工規模補正係数</p> <p>2-12-2-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p>	<p>[ポンプ車打設の場合]</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】 2-12-2-2</p> <p>・コンクリート計画打設量 → 補正係数の検討 → ①施工規模補正係数</p> <p>2-12-2-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記
6節 上部工 P3-6-27	<p>[コンクリート打設の積算]</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・コンクリート打設 100m³当り代価表</p>	<p>[コンクリート打設の積算]</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・コンクリート打設 100m³当り代価表</p>	記載の追記
6節 上部工 P3-6-28	<p>[コンクリート打設の積算]</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・コンクリート打設 100m³当り代価表</p>	<p>[コンクリート打設の積算]</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・コンクリート打設 100m³当り代価表</p>	記載の追記
6節 上部工 P3-6-30	<p>[コンクリート打設の積算]</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・コンクリート打設 1,000m³当り代価表</p>	<p>[コンクリート打設の積算]</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・コンクリート打設 1,000m³当り代価表</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
7節 付属工 P3-7-6	<p>①施工区分 【陸上施工方式】</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】 2-1-4</p> <p>・係船柱規格 ・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → ・係船柱取付1日(基)当り代価表 ・クレーンの機種・規格</p>	<p>①施工区分 【陸上施工方式】</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】 2-1-4</p> <p>・係船柱規格 ・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → ・係船柱取付1日(基)当り代価表 ・クレーンの機種・規格</p>	記載の追記
7節 付属工 P3-7-7	<p>2-1-4 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p>	<p>2-1-4 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記
7節 付属工 P3-7-8	<p>3-1-3 代価表作成手順</p> <p>3-1-4</p> <p>・規格・工法 → 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・現場条件 → 施工区分の選定 → ①施工区分(陸上、海上施工)</p> <p>↓</p> <p>・工事条件 → 施工範囲の選定 → ②施工範囲埋込栓取付防舷材取付梯子取付</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>・施工規模 → 補正係数の選定 → ③施工規模補正係数</p>	<p>3-1-3 代価表作成手順</p> <p>3-1-4</p> <p>・規格・工法 → 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・現場条件 → 施工区分の選定 → ①施工区分(陸上、海上施工)</p> <p>↓</p> <p>・工事条件 → 施工範囲の選定 → ②施工範囲埋込栓取付防舷材取付梯子取付</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>・施工規模 → 補正係数の選定 → ③施工規模補正係数</p>	記載の追記
7節 付属工 P3-7-10	<p>3-1-4 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p>	<p>3-1-4 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記
7節 付属工 P3-7-11	<p>4-3-1 代価表作成手順 [車止取付の積算]</p> <p>・工法等 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>・施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 ②施工方式補正係数</p>	<p>4-3-1 代価表作成手順 [車止取付の積算]</p> <p>・工法等 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>・施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 ②施工方式補正係数</p>	記載の追記
7節 付属工 P3-7-12	<p>[車止塗装(亜鉛メッキ面)の積算]</p> <p>・工法等 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価</u>】</p> <p>・施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数</p>	<p>[車止塗装(亜鉛メッキ面)の積算]</p> <p>・工法等 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 <u>市場単価等</u>】</p> <p>・施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数</p>	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
7節 付属工 P3-7-12	<p>4-3-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p>	<p>4-3-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記
7節 付属工 P3-7-13	<p>4-4-1 代価表作成手順 〔緑金物取付の積算〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工法等 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算 【第4章 <u>市場単価</u>】 ・施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 <p>〔緑金物塗装の積算〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工法等 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算 【第4章 <u>市場単価</u>】 ・施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 <p>4-4-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価</u>」による。</p>	<p>4-4-1 代価表作成手順 〔緑金物取付の積算〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工法等 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算 【第4章 <u>市場単価等</u>】 ・施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 <p>〔緑金物塗装の積算〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工法等 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算 【第4章 <u>市場単価等</u>】 ・施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 <p>4-4-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記
7節 付属工 P3-7-14	<p>5-1-3 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場条件 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算（直接溶接工法を適用） ↓ 〔取付金具製作・取付の積算〕 【第4章 <u>市場単価</u>】 5-1-5 ・対象構造物が鋼管類の場合 ・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・取付金具製作1日（陽極30個）当り代価表 ・取付金具取付1日（陽極30個）当り代価表 <p>〔既設構造物等を基地として作業できる場合〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 【第4章 <u>市場単価</u>】 5-1-5 ・標準市場単価（クレーン込み） → 代価表の作成 → ・陽極取付1日（個）当り代価表 	<p>5-1-3 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場条件 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算（直接溶接工法を適用） ↓ 〔取付金具製作・取付の積算〕 【第4章 <u>市場単価等</u>】 5-1-5 ・対象構造物が鋼管類の場合 ・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・取付金具製作1日（陽極30個）当り代価表 ・取付金具取付1日（陽極30個）当り代価表 <p>〔既設構造物等を基地として作業できる場合〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 【第4章 <u>市場単価等</u>】 5-1-5 ・標準市場単価（クレーン込み） → 代価表の作成 → ・陽極取付1日（個）当り代価表 	記載の追記

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント
8節 消波工 目次	8節 消波工 1. 総則 1-1 適用範囲 ----- 3-8-1 1-2 積算ツリー ----- 3-8-1 1-3 積算フロー ----- 3-8-1 1-4 標準的な積算手順 ----- 3-8-2 1-5 数量計算等 1-5-1 集計数値 ----- 3-8-2 1-5-2 材料割増率 ----- 3-8-2 1-5-3 数量の算出 ----- 3-8-2 2. 消波ブロック工 2-1 消波ブロック製作 2-1-1 適用範囲 ----- 3-8-3 2-1-2 施工フロー ----- 3-8-3 2-1-3 代価表作成手順 ----- 3-8-3 2-1-4 施工歩掛 2-1-4-1 ブロック質量の選定 ----- 3-8-4 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン ----- 3-8-4 2-1-4-3 製作歩掛等 ----- 3-8-4 2-2 消波ブロック据付 2-2-1 適用範囲 ----- 3-8-7 2-2-2 施工方法 2-2-2-1 施工方式と適用範囲 ----- 3-8-7 2-2-2-2 施工方式の概念図 ----- 3-8-8 2-2-3 施工フロー ----- 3-8-9 2-2-4 作業船・機械の組合せ 2-2-4-1 陸上作業 ----- 3-8-10 2-2-4-2 海上作業 ----- 3-8-10 2-2-5 水中と陸上の工事区分 ----- 3-8-10 2-2-6 異形ブロック転置 2-2-6-1 代価表作成手順 ----- 3-8-11 2-2-6-2 施工歩掛 ----- 3-8-11 2-2-7 異形ブロック据付（1スイング） 2-2-7-1 代価表作成手順 ----- 3-8-12 2-2-7-2 施工歩掛 ----- 3-8-13 2-2-8 異形ブロック横持ち 2-2-8-1 代価表作成手順 ----- 3-8-14 2-2-8-2 施工歩掛 ----- 3-8-14 2-2-9 異形ブロック運搬据付（陸上連携方式） 2-2-9-1 代価表作成手順 ----- 3-8-15 2-2-9-2 施工歩掛 ----- 3-8-15 2-2-10 異形ブロック運搬据付（海上一連方式） 2-2-10-1 代価表作成手順 ----- 3-8-16 2-2-10-2 施工歩掛 ----- 3-8-17 2-2-11 異形ブロック運搬据付（陸海一貫方式） 2-2-11-1 代価表作成手順 ----- 3-8-18 2-2-11-2 施工歩掛 ----- 3-8-20 3. 洗掘防止工 ----- 3-8-21 4. 消波ブロック工（海岸） 4-1 適用範囲 ----- 3-8-22 4-2 施工概要 ----- 3-8-22 4-3 消波ブロック据付（海岸） 4-3-1 施工方法 ----- 3-8-22 4-3-2 作業船等の組合せ ----- 3-8-22 4-3-3 潜水士船の規格 ----- 3-8-23 4-3-4 施工歩掛 ----- 3-8-23	8節 消波工 1. 総則 1-1 適用範囲 ----- 3-8-1 1-2 積算ツリー ----- 3-8-1 1-3 積算フロー ----- 3-8-1 1-4 標準的な積算手順 ----- 3-8-2 1-5 数量計算等 1-5-1 集計数値 ----- 3-8-2 1-5-2 材料割増率 ----- 3-8-2 1-5-3 数量の算出 ----- 3-8-2 2. 消波ブロック工 2-1 消波ブロック製作 2-1-1 適用範囲 ----- 3-8-3 2-1-2 施工フロー ----- 3-8-3 2-1-3 代価表作成手順 ----- 3-8-3 2-1-4 施工歩掛 2-1-4-1 ブロック質量の選定 ----- 3-8-4 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン ----- 3-8-4 2-1-4-3 製作歩掛等 ----- 3-8-4 2-2 消波ブロック据付 2-2-1 適用範囲 ----- 3-8-7 2-2-2 施工方法 2-2-2-1 施工方式と適用範囲 ----- 3-8-7 2-2-2-2 施工方式の概念図 ----- 3-8-8 2-2-3 施工フロー ----- 3-8-9 2-2-4 作業船・機械の組合せ 2-2-4-1 陸上作業 ----- 3-8-10 2-2-4-2 海上作業 ----- 3-8-10 2-2-5 水中と陸上の工事区分 ----- 3-8-10 2-2-6 異形ブロック転置 2-2-6-1 代価表作成手順 ----- 3-8-11 2-2-6-2 施工歩掛 ----- 3-8-11 2-2-7 異形ブロック据付（1スイング） 2-2-7-1 代価表作成手順 ----- 3-8-12 2-2-7-2 施工歩掛 ----- 3-8-13 2-2-8 異形ブロック横持ち 2-2-8-1 代価表作成手順 ----- 3-8-14 2-2-8-2 施工歩掛 ----- 3-8-14 2-2-9 異形ブロック運搬据付（陸上連携方式） 2-2-9-1 代価表作成手順 ----- 3-8-15 2-2-9-2 施工歩掛 ----- 3-8-15 2-2-10 異形ブロック運搬据付（海上一連方式） 2-2-10-1 代価表作成手順 ----- 3-8-17 2-2-10-2 施工歩掛 ----- 3-8-17 2-2-11 異形ブロック運搬据付（陸海一貫方式） 2-2-11-1 代価表作成手順 ----- 3-8-19 2-2-11-2 施工歩掛 ----- 3-8-20 3. 洗掘防止工 ----- 3-8-22 4. 消波ブロック工（海岸） 4-1 適用範囲 ----- 3-8-23 4-2 施工概要 ----- 3-8-23 4-3 消波ブロック据付（海岸） 4-3-1 施工方法 ----- 3-8-23 4-3-2 作業船等の組合せ ----- 3-8-23 4-3-3 潜水士船の規格 ----- 3-8-24 4-3-4 施工歩掛 ----- 3-8-24	ページ番号の修正 文言追加にともなう 修正

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																																																		
8節 消波工 P3-8-4	<p>2-1-4-3 製作歩掛等 製作に係わる型枠およびコンクリートの歩掛数量は、ブロック実質量により選定する。</p> <p>1) 型枠工およびコンクリート打設工 市場単価には、一般養生に要する労務の他、型枠剥離剤、インパクトレンチ、電力に関する費用、コンクリートバケット、パイプレタ、養生シート、ワイヤーロープおよび足場にかかる費用が含まれる。 なお、一般養生とは、むしろ、シート掛け、養生剤程度のものであり、給熱養生の必要がある場合は別途考慮する。 市場単価の算定については、「第4章 市場単価」による。</p>	<p>2-1-4-3 製作歩掛等 製作に係わる型枠およびコンクリートの歩掛数量は、ブロック実質量により選定する。</p> <p>1) 型枠工およびコンクリート打設工 市場単価には、一般養生に要する労務の他、型枠剥離剤、インパクトレンチ、電力に関する費用、コンクリートバケット、パイプレタ、養生シート、ワイヤーロープおよび足場にかかる費用が含まれる。 なお、一般養生とは、むしろ、シート掛け、養生剤程度のものであり、給熱養生の必要がある場合は別途考慮する。 市場単価の算定については、「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記																																																																																																																																		
8節 消波工 P3-8-5	<p>4) 鉄筋および吊鉄筋加工組立 市場単価「土木工事・鉄筋工（一般構造物）」を適用する。 なお、市場単価には鉄筋荷卸し費用、およびクレーンを必要とする場合の賃料が含まれる。 市場単価の算定については、「第4章 市場単価」による。</p>	<p>4) 鉄筋および吊鉄筋加工組立 市場単価「土木工事・鉄筋工（一般構造物）」を適用する。 なお、市場単価には鉄筋荷卸し費用、およびクレーンを必要とする場合の賃料が含まれる。 市場単価の算定については、「第4章 <u>市場単価等</u>」による。</p>	記載の追記																																																																																																																																		
8節 消波工 P3-8-6	<p>6) 代価表 (1) 異形ブロック製作 10個当り</p> <table border="1" data-bbox="353 714 1344 1371"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>V × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>型 枠 賃 料</td> <td></td> <td>m²</td> <td>A × 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄 筋</td> <td></td> <td>kg</td> <td>R_i × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>吊 鉄 筋</td> <td></td> <td>kg</td> <td>R_d × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 加 工 組 立</td> <td>一般構造物</td> <td>kg</td> <td>Σ R_i × 10</td> <td>市場単価(土木工事・鉄筋工)</td> </tr> <tr> <td>吊 鉄 筋 加 工 組 立</td> <td>一般構造物</td> <td>kg</td> <td>Σ R_d × 10</td> <td>市場単価(土木工事・鉄筋工)</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>m²</td> <td>A × 10</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト 打 設 工</td> <td></td> <td>m³</td> <td>V × 10</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>給 熱 養 生 加 算 額</td> <td></td> <td>m³</td> <td>V × 10</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (型 枠 工 用)</td> <td>排出力⁺対策型 (油) t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)</td> <td>排出力⁺対策型 (油) t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ク ロ ー ラ ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. V :ブロック1個当りコンクリート設計量 (m³) 2. A :ブロック1個当り型枠面積 (m²) 3. R_i, R_d :ブロック1個当り鉄筋または吊鉄筋質量(kg) 4. a :型枠100m²当り組立組外歩掛(m²) 5. b :コンクリート100m³当り打設歩掛(m³) 6. W :材料割増率(%) 7. 数量は、小数3位四捨五入とする。 8. 材料割増率は、「本節 1-5-2 材料割増率」による。 9. 架台、ベッド等が必要な場合は、別途計上する。 10. 連結鉄筋、連結金具が必要な場合は、別途計上する。 11. 給熱養生が必要な場合は、給熱養生加算額を計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	レディーミクストコンクリート		m ³	V × (1+W/100) × 10	割増しを含む	型 枠 賃 料		m ²	A × 10		鉄 筋		kg	R _i × (1+W/100) × 10	割増しを含む	吊 鉄 筋		kg	R _d × (1+W/100) × 10	割増しを含む	鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	Σ R _i × 10	市場単価(土木工事・鉄筋工)	吊 鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	Σ R _d × 10	市場単価(土木工事・鉄筋工)	型 枠 工		m ²	A × 10	市場単価	コ ン ク リ ー ト 打 設 工		m ³	V × 10	市場単価	給 熱 養 生 加 算 額		m ³	V × 10	市場単価	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (型 枠 工 用)	排出力 ⁺ 対策型 (油) t吊	日	A × 10 × a / 100	標準運転時間	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)	排出力 ⁺ 対策型 (油) t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間	ク ロ ー ラ ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)	(油) t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間	<p>6) 代価表 (1) 異形ブロック製作 10個当り</p> <table border="1" data-bbox="1528 714 2519 1371"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>V × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>型 枠 賃 料</td> <td></td> <td>m²</td> <td>A × 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄 筋</td> <td></td> <td>kg</td> <td>R_i × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>吊 鉄 筋</td> <td></td> <td>kg</td> <td>R_d × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 加 工 組 立</td> <td>一般構造物</td> <td>kg</td> <td>Σ R_i × 10</td> <td>市場単価(土木工事・鉄筋工)</td> </tr> <tr> <td>吊 鉄 筋 加 工 組 立</td> <td>一般構造物</td> <td>kg</td> <td>Σ R_d × 10</td> <td>市場単価(土木工事・鉄筋工)</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>m²</td> <td>A × 10</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト 打 設 工</td> <td></td> <td>m³</td> <td>V × 10</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>給 熱 養 生 加 算 額</td> <td></td> <td>m³</td> <td>V × 10</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (型 枠 工 用)</td> <td>排出力⁺対策型 (油) t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)</td> <td>排出力⁺対策型 (油) t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ク ロ ー ラ ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. V :ブロック1個当りコンクリート設計量 (m³) 2. A :ブロック1個当り型枠面積 (m²) 3. R_i, R_d :ブロック1個当り鉄筋または吊鉄筋質量(kg) 4. a :型枠100m²当り組立組外歩掛(m²) 5. b :コンクリート100m³当り打設歩掛(m³) 6. W :材料割増率(%) 7. 数量は、小数3位四捨五入とする。 8. 材料割増率は、「本節 1-5-2 材料割増率」による。 9. 架台、ベッド等が必要な場合は、別途計上する。 10. 連結鉄筋、連結金具が必要な場合は、別途計上する。 11. 給熱養生が必要な場合は、給熱養生加算額を計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	レディーミクストコンクリート		m ³	V × (1+W/100) × 10	割増しを含む	型 枠 賃 料		m ²	A × 10		鉄 筋		kg	R _i × (1+W/100) × 10	割増しを含む	吊 鉄 筋		kg	R _d × (1+W/100) × 10	割増しを含む	鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	Σ R _i × 10	市場単価(土木工事・鉄筋工)	吊 鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	Σ R _d × 10	市場単価(土木工事・鉄筋工)	型 枠 工		m ²	A × 10	市場単価	コ ン ク リ ー ト 打 設 工		m ³	V × 10	市場単価	給 熱 養 生 加 算 額		m ³	V × 10	市場単価	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (型 枠 工 用)	排出力 ⁺ 対策型 (油) t吊	日	A × 10 × a / 100	標準運転時間	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)	排出力 ⁺ 対策型 (油) t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間	ク ロ ー ラ ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)	(油) t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間	記載の見直し
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																	
レディーミクストコンクリート		m ³	V × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																	
型 枠 賃 料		m ²	A × 10																																																																																																																																		
鉄 筋		kg	R _i × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																	
吊 鉄 筋		kg	R _d × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																	
鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	Σ R _i × 10	市場単価(土木工事・鉄筋工)																																																																																																																																	
吊 鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	Σ R _d × 10	市場単価(土木工事・鉄筋工)																																																																																																																																	
型 枠 工		m ²	A × 10	市場単価																																																																																																																																	
コ ン ク リ ー ト 打 設 工		m ³	V × 10	市場単価																																																																																																																																	
給 熱 養 生 加 算 額		m ³	V × 10	市場単価																																																																																																																																	
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (型 枠 工 用)	排出力 ⁺ 対策型 (油) t吊	日	A × 10 × a / 100	標準運転時間																																																																																																																																	
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)	排出力 ⁺ 対策型 (油) t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間																																																																																																																																	
ク ロ ー ラ ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)	(油) t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間																																																																																																																																	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																	
レディーミクストコンクリート		m ³	V × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																	
型 枠 賃 料		m ²	A × 10																																																																																																																																		
鉄 筋		kg	R _i × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																	
吊 鉄 筋		kg	R _d × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																	
鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	Σ R _i × 10	市場単価(土木工事・鉄筋工)																																																																																																																																	
吊 鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	Σ R _d × 10	市場単価(土木工事・鉄筋工)																																																																																																																																	
型 枠 工		m ²	A × 10	市場単価																																																																																																																																	
コ ン ク リ ー ト 打 設 工		m ³	V × 10	市場単価																																																																																																																																	
給 熱 養 生 加 算 額		m ³	V × 10	市場単価																																																																																																																																	
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (型 枠 工 用)	排出力 ⁺ 対策型 (油) t吊	日	A × 10 × a / 100	標準運転時間																																																																																																																																	
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)	排出力 ⁺ 対策型 (油) t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間																																																																																																																																	
ク ロ ー ラ ク レ ー ン (コ ン ク リ ー ト 工 用、製 作 転 置 用)	(油) t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間																																																																																																																																	

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																																				
8節 消波工 P3-8-12	3) 代価表 (1) ブロック転置 1日 (個) 当り <table border="1" data-bbox="409 327 1258 873"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 〃</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃	—	1	運6H/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	1	運2H/就8H	潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H	と び 工		人				普通作業員		〃				雑 材 料						3) 代価表 (1) ブロック転置 1日 (個) 当り <table border="1" data-bbox="1581 327 2430 873"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 〃</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1581 884 2487 1003"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式（交互）を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難しい場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面（M.L.W.L.）からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式（交互）とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃	—	1	運6H/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	1	運2H/就8H	潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H	と び 工		人				普通作業員		〃				雑 材 料						記載の追記
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																															
		陸上	海上																																																																																																				
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	—	標準運転時間																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃	—	1	運6H/就8H																																																																																																		
引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	1	運2H/就8H																																																																																																		
潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H																																																																																																		
と び 工		人																																																																																																					
普通作業員		〃																																																																																																					
雑 材 料																																																																																																							
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																		
			陸上	海上																																																																																																			
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	—	標準運転時間																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃	—	1	運6H/就8H																																																																																																		
引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	1	運2H/就8H																																																																																																		
潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H																																																																																																		
と び 工		人																																																																																																					
普通作業員		〃																																																																																																					
雑 材 料																																																																																																							
8節 消波工 P3-8-13	3) 代価表 (1) ブロック据付（1スイング） 1日 (個) 当り <table border="1" data-bbox="409 1096 1258 1642"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 〃</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃	—	1	運6H/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	1	運2H/就8H	潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H	と び 工		人				普通作業員		〃				雑 材 料						3) 代価表 (1) ブロック据付（1スイング） 1日 (個) 当り <table border="1" data-bbox="1581 1096 2430 1642"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 〃</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1581 1652 2487 1772"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式（交互）を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難しい場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面（M.L.W.L.）からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式（交互）とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃	—	1	運6H/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	1	運2H/就8H	潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H	と び 工		人				普通作業員		〃				雑 材 料						記載の追記
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																															
		陸上	海上																																																																																																				
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	—	標準運転時間																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃	—	1	運6H/就8H																																																																																																		
引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	1	運2H/就8H																																																																																																		
潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H																																																																																																		
と び 工		人																																																																																																					
普通作業員		〃																																																																																																					
雑 材 料																																																																																																							
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																		
			陸上	海上																																																																																																			
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	—	標準運転時間																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃	—	1	運6H/就8H																																																																																																		
引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	1	運2H/就8H																																																																																																		
潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃			就業8H																																																																																																		
と び 工		人																																																																																																					
普通作業員		〃																																																																																																					
雑 材 料																																																																																																							

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																
8節 消波工 P3-8-16	3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸上連携方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="409 327 1234 873"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>据付・仮置用 標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>積込用 標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ト レ ー ラ または ト ラ ッ ク</td> <td>t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 運転</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	据付・仮置用 標準運転時間	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	〃	1	積込用 標準運転時間	ト レ ー ラ または ト ラ ッ ク	t積	〃		標準運転時間	潜水士船 運転	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	と び 工		人			普通作業員		〃			雑 材 料					3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸上連携方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="1584 327 2410 873"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>据付・仮置用 標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>積込用 標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ト レ ー ラ または ト ラ ッ ク</td> <td>t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 運転</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1573 884 2487 1003"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式(交互)を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難しい場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式(交互)とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	据付・仮置用 標準運転時間	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	〃	1	積込用 標準運転時間	ト レ ー ラ または ト ラ ッ ク	t積	〃		標準運転時間	潜水士船 運転	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	と び 工		人			普通作業員		〃			雑 材 料					記載の追記
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																															
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	据付・仮置用 標準運転時間																																																																															
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	〃	1	積込用 標準運転時間																																																																															
ト レ ー ラ または ト ラ ッ ク	t積	〃		標準運転時間																																																																															
潜水士船 運転	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																															
と び 工		人																																																																																	
普通作業員		〃																																																																																	
雑 材 料																																																																																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																															
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	据付・仮置用 標準運転時間																																																																															
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	〃	1	積込用 標準運転時間																																																																															
ト レ ー ラ または ト ラ ッ ク	t積	〃		標準運転時間																																																																															
潜水士船 運転	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																															
と び 工		人																																																																																	
普通作業員		〃																																																																																	
雑 材 料																																																																																			
8節 消波工 P3-8-18	3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(海上一連方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="409 1142 1258 1549"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 非航旋回 艀D t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>運:作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 〃</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 艀D t吊	日	1	運:作業能力/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	1	〃	潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	と び 工		人			普通作業員		〃			雑 材 料					3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(海上一連方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="1584 1142 2433 1549"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 非航旋回 艀D t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>運:作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 〃</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1573 1560 2487 1680"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式(交互)を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難しい場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式(交互)とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 艀D t吊	日	1	運:作業能力/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	1	〃	潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	と び 工		人			普通作業員		〃			雑 材 料					記載の追記										
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																															
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 艀D t吊	日	1	運:作業能力/就8H																																																																															
引 船 〃	鋼D PS型	〃	1	〃																																																																															
潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																															
と び 工		人																																																																																	
普通作業員		〃																																																																																	
雑 材 料																																																																																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																															
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 艀D t吊	日	1	運:作業能力/就8H																																																																															
引 船 〃	鋼D PS型	〃	1	〃																																																																															
潜水士船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																															
と び 工		人																																																																																	
普通作業員		〃																																																																																	
雑 材 料																																																																																			

令和6年度 漁港漁場関係工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（令和5年度）	改定（令和6年度）	コメント																																																																																										
8節 消波工 P3-8-21	3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="409 327 1308 919"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>トラック または トレーラ</td> <td>t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航能回 鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>運:作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間	トラック または トレーラ	t積	〃		〃	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航能回 鋼D t吊	〃	1	運:作業能力/就8H	引船	鋼D PS型	〃	1	〃	潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	とび工		人			普通作業員		〃			雑材料					3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="1584 327 2484 919"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>トラック または トレーラ</td> <td>t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航能回 鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>運:作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D270PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1576 930 2484 1045"> 注) 1. 潜水士船については、水深15m未満の場合は単独潜水方式、水深15m以上30m未満の場合は2人潜水方式(交互)を適用する。 なお、水深30m以上の場合や現場条件によりこれにより難しい場合は別途考慮する。 2. 水深については、平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とする。 3. ブロックの一部が水深15m以上にある場合は、2人潜水方式(交互)とする。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間	トラック または トレーラ	t積	〃		〃	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航能回 鋼D t吊	〃	1	運:作業能力/就8H	引船	鋼D PS型	〃	1	〃	潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H	とび工		人			普通作業員		〃			雑材料					記載の追記
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																									
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間																																																																																									
トラック または トレーラ	t積	〃		〃																																																																																									
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航能回 鋼D t吊	〃	1	運:作業能力/就8H																																																																																									
引船	鋼D PS型	〃	1	〃																																																																																									
潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																																									
とび工		人																																																																																											
普通作業員		〃																																																																																											
雑材料																																																																																													
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																									
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間																																																																																									
トラック または トレーラ	t積	〃		〃																																																																																									
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航能回 鋼D t吊	〃	1	運:作業能力/就8H																																																																																									
引船	鋼D PS型	〃	1	〃																																																																																									
潜水士船	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H																																																																																									
とび工		人																																																																																											
普通作業員		〃																																																																																											
雑材料																																																																																													